

2022年3月期 決算説明会



2022年5月24日
株式会社 小森コーポレーション

1. 2022年3月期の業績および次期計画

執行役員管理本部長 橋本 巖

2. 経営概況

代表取締役社長 持田 訓

2022年3月期の業績および次期計画



2022年 5月24日

株式会社 小森コーポレーション

目次

P.5~ 7	決算概要 P/L・B/S・C/F
P.8	売上高・損益の推移
P.9~12	地域別・品目別 受注高
P.13~16	地域別・品目別 売上高
P.17	受注残高の推移
P.18	製品在庫の推移
P.19	営業損益の変動要因
P.20~25	業績見通し
P.26	設備投資・減価償却費・開発費
P.27~36	地域別 受注高・売上高 詳細

決算概要 P/L

(単位:億円)

		当期実績 2022/3	前期実績 2021/3	差額	前期比	通期計画 2022/3	差額	計画比
受注高		976	717	259	136%	910	66	107%
売上高		876	718	158	122%	860	16	102%
営業利益		23	△23	46	-	15	8	151%
経常利益		34	△11	46	-	18	16	189%
親会社株主に帰属する 当期純利益		62	△21	82	-	39	23	158%
平均レート(円)	US\$	112.86	106.17	/		109.90	/	
	EUR	131.01	123.73			128.34		
期末レート(円)	US\$	122.39	110.71			105.00		
	EUR	136.70	129.80			120.00		

主な資産・負債

(単位:億円)

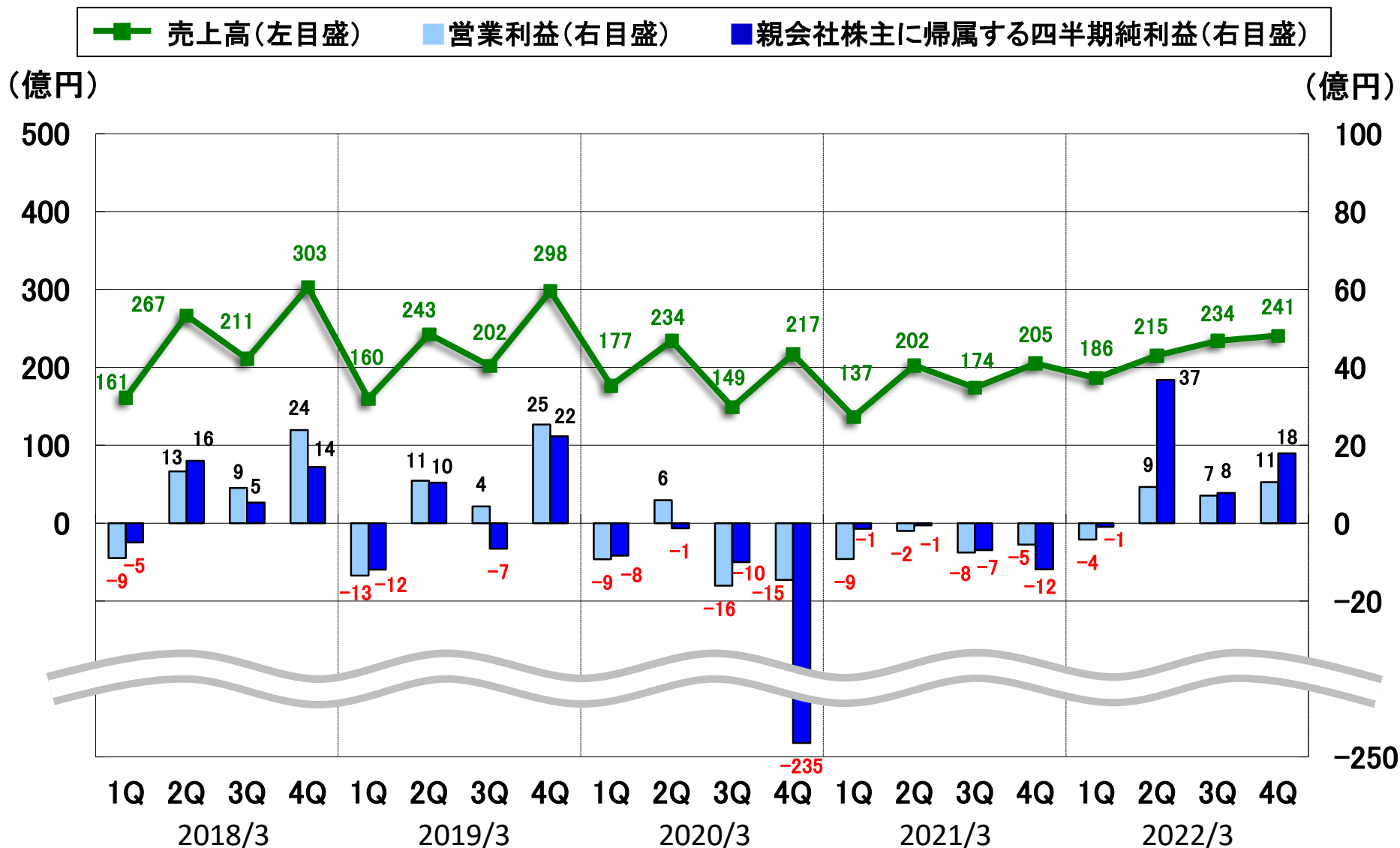
	当期末 2022.3.31	前期末 2021.3.31	差額
短期金融資産	639	554	85
売上債権	174	159	14
棚卸資産	324	318	6
うち製品	135	138	△3
有形固定資産	170	163	7
無形固定資産	39	45	△6
その他資産	225	206	20
資産合計	1,571	1,444	126
仕入債務	158	125	33
短期借入金	9	9	0
社債	100	100	0
長期借入金	4	4	△1
その他負債	267	229	38
負債合計	537	467	70
純資産	1,034	977	56
負債・純資産合計	1,571	1,444	126

キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	当期 2022/3	前期 2021/3	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	93	82	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14	△ 22	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 29	93	△ 122
現金及び現金同等物の期末残高	603	543	60

売上高・損益の推移



地域別受注高

(単位：億円)

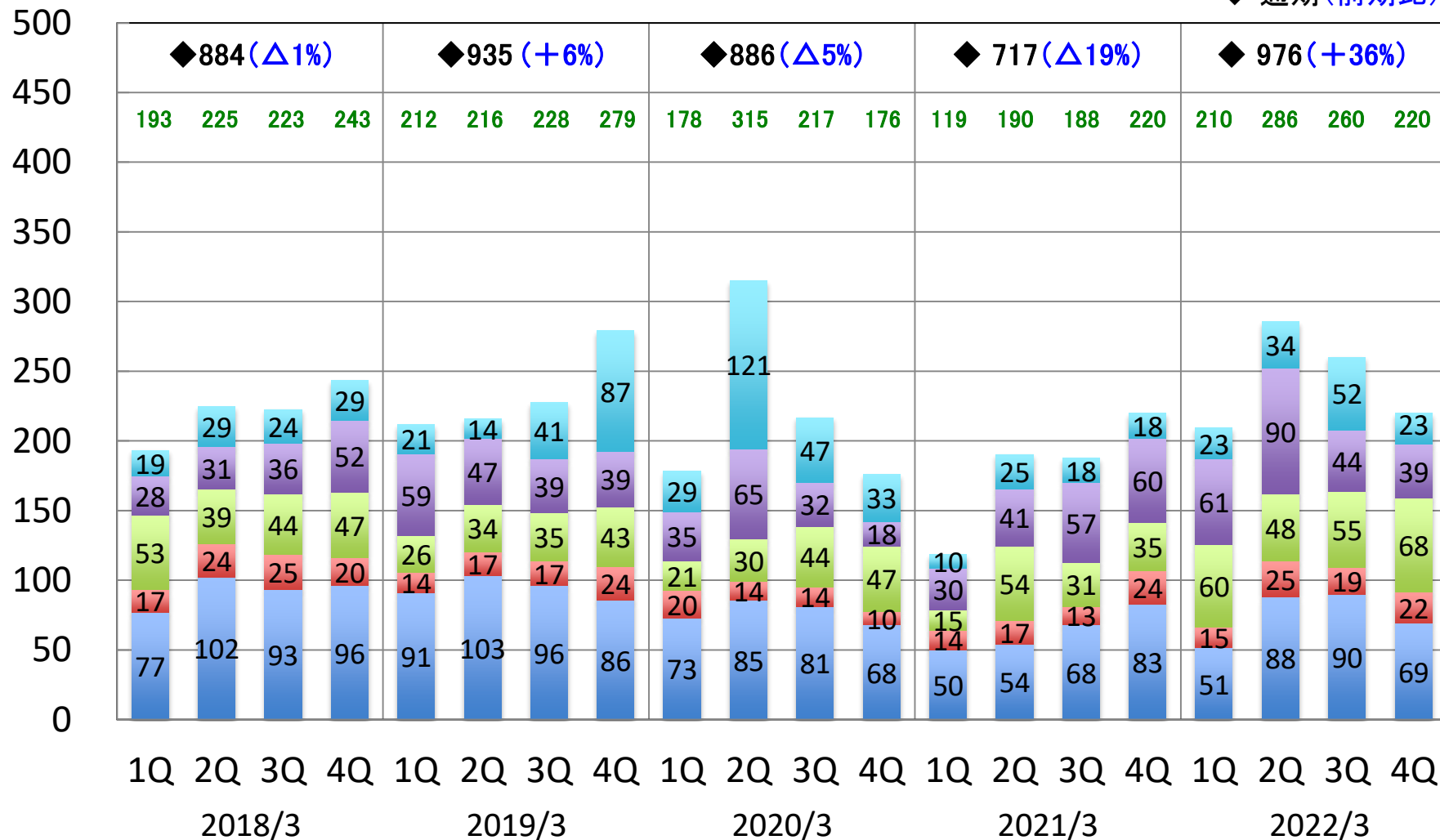
	当期実績 2022/3	前期実績 2021/3	前期比	通期計画 2022/3	計画比
日 本	299	256	117%	310	96%
北 米	82	68	120%	71	115%
(百万ドル)	(72)	(64)	(113%)	(65)	(112%)
欧 州	230	134	171%	188	122%
(百万ユーロ)	(176)	(108)	(162%)	(146)	(120%)
中 華 圏	234	188	124%	221	106%
そ の 他 地 域	131	71	185%	120	109%
合 計	976	717	136%	910	107%

地域別受注高

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ その他地域

(億円)

◆ 通期(前期比)

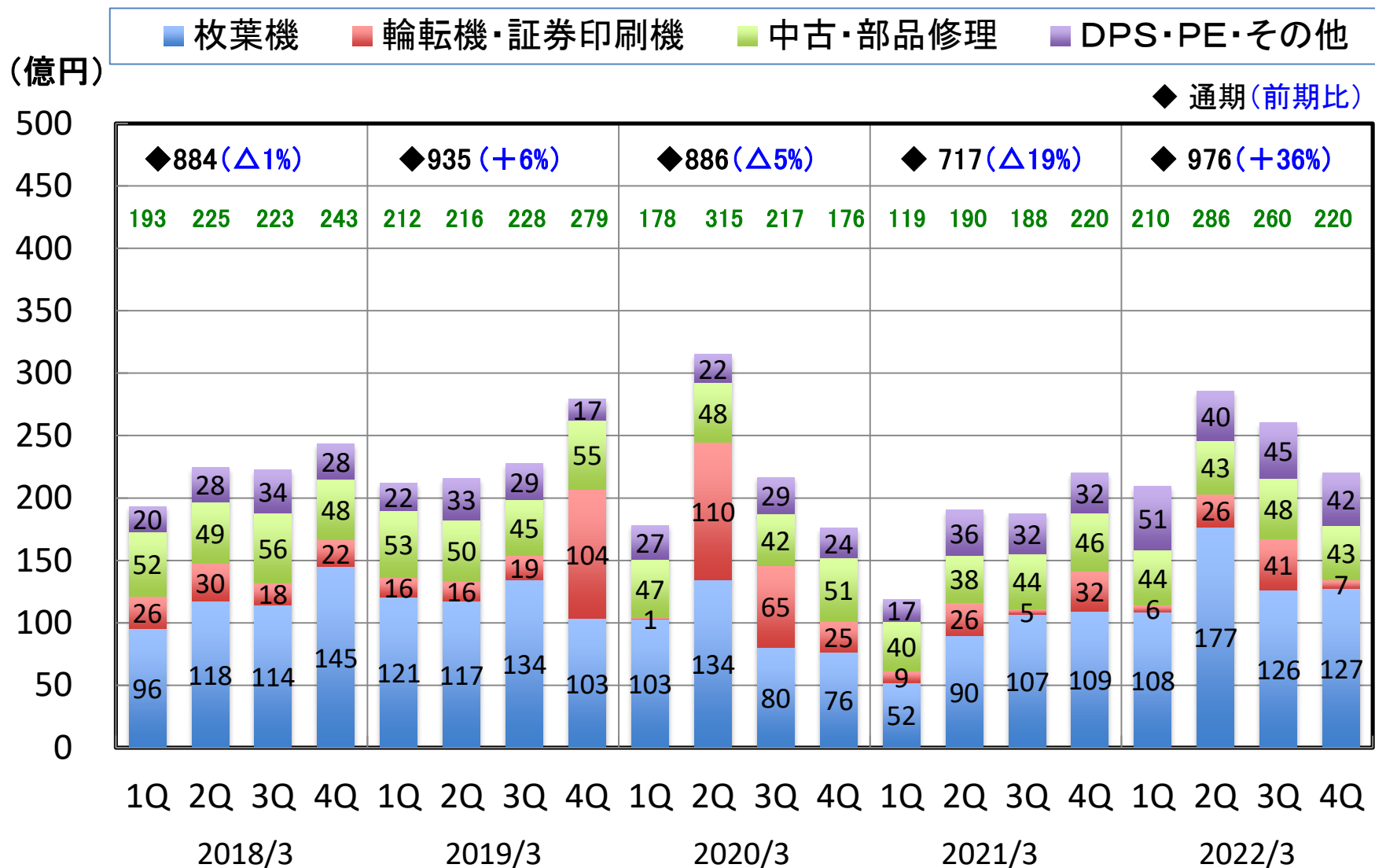


品目別受注高

(単位：億円)

	当期実績 2022/3	前期実績 2021/3	前期比	通期計画 2022/3	計画比
枚 葉 機	539	358	150%	474	114%
輪転機・証券印刷機	81	73	111%	77	105%
中古・部品修理	178	168	106%	180	99%
DPS・PE・その他	178	118	151%	179	99%
合 計	976	717	136%	910	107%

品目別受注高



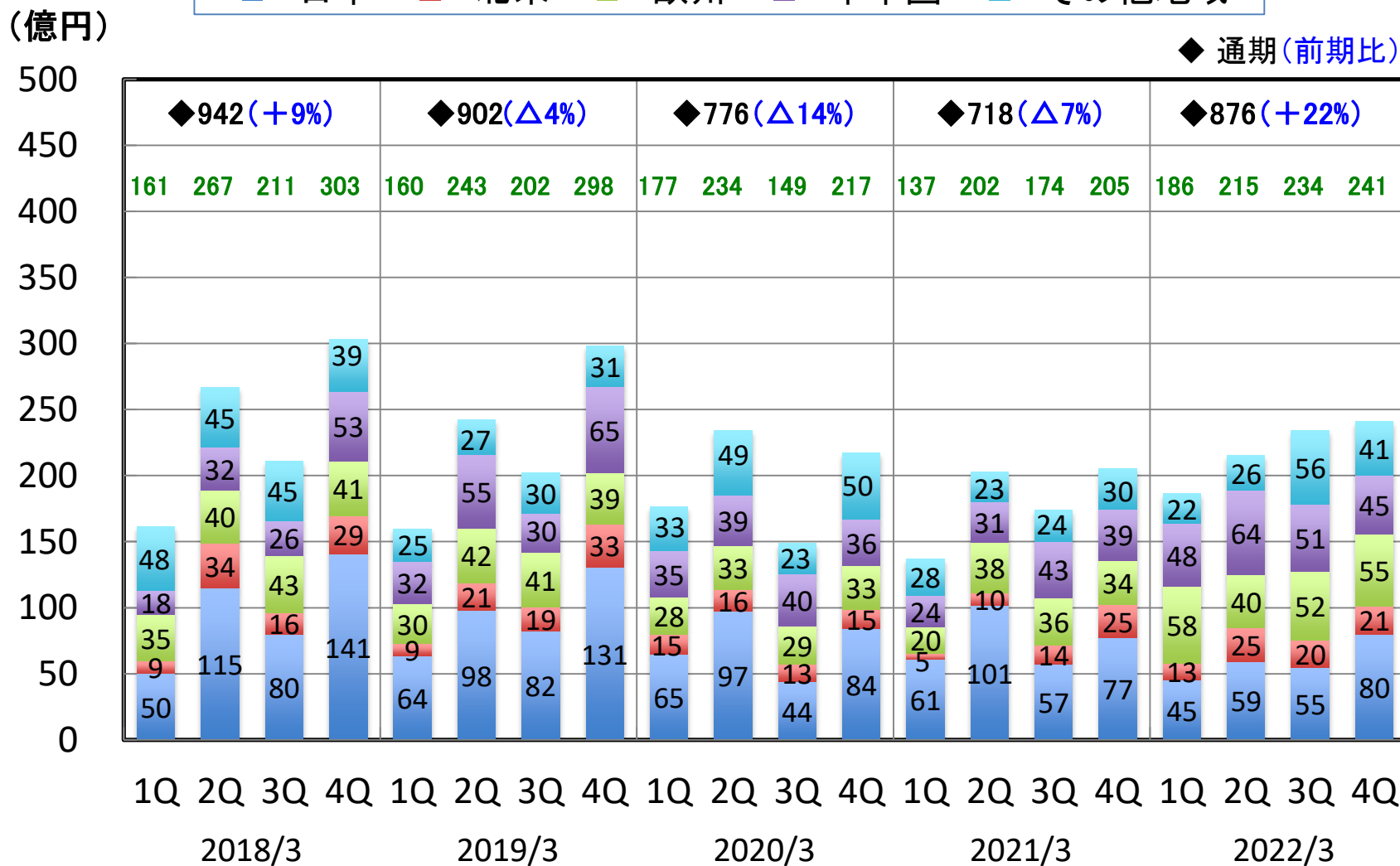
地域別売上高

(単位: 億円)

	当期実績 2022/3	前期実績 2021/3	前期比	通期計画 2022/3	計画比
日 本	240	297	81%	247	97%
北 米	79	54	147%	76	104%
(百万ドル)	(70)	(51)	(138%)	(69)	(102%)
欧 州	205	128	160%	193	106%
(百万ユーロ)	(156)	(103)	(151%)	(151)	(104%)
中 華 圏	208	136	153%	203	102%
そ の 他 地 域	145	104	139%	141	103%
合 計	876	718	122%	860	102%

地域別売上高

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ その他地域



品目別売上高

(単位：億円)

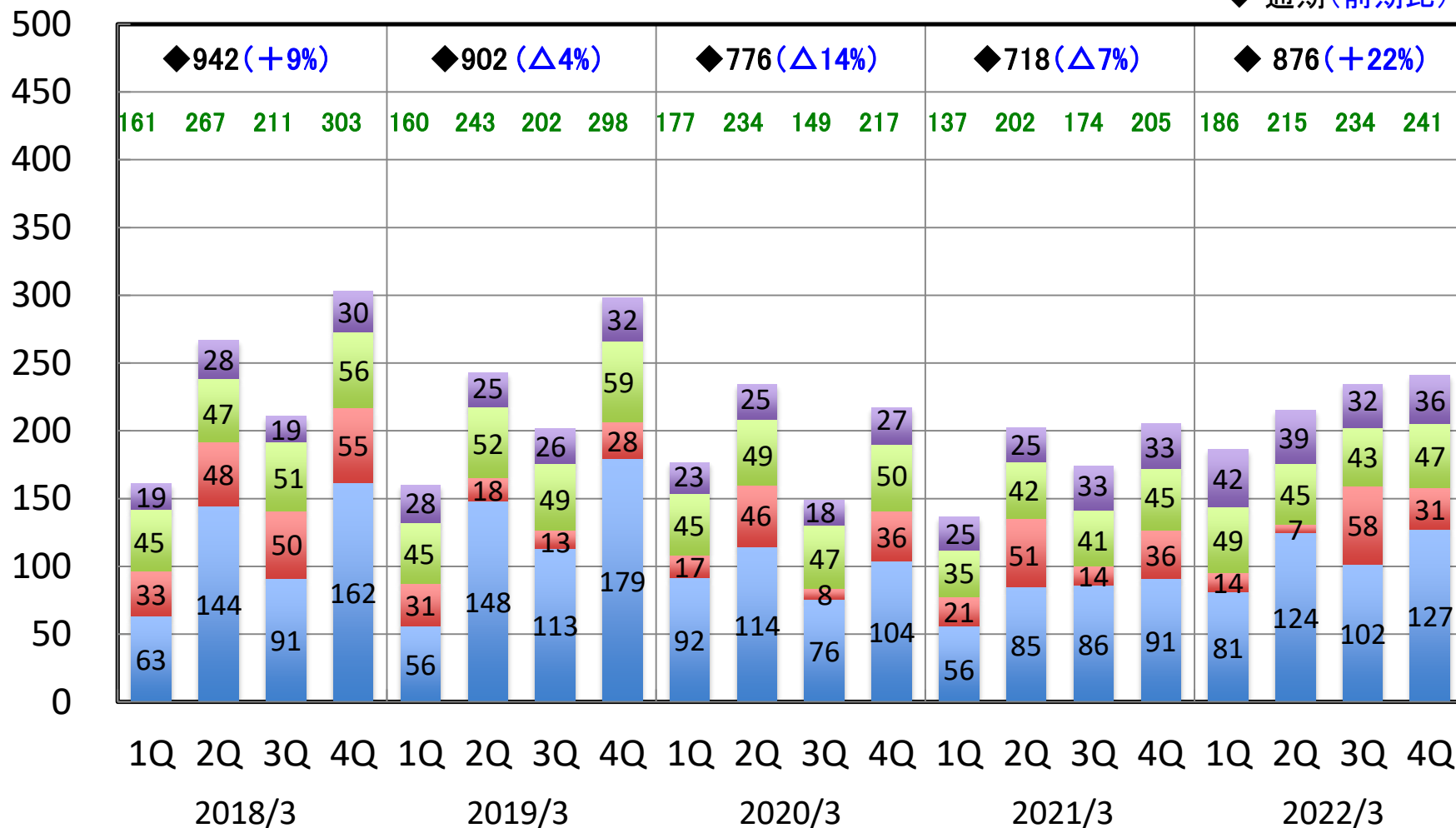
	当期実績 2022/3	前期実績 2021/3	前期比	通期計画 2022/3	計画比
枚 葉 機	435	318	137%	427	102%
輪転機・証券印刷機	109	122	89%	104	104%
中古・部品修理	184	163	113%	182	101%
DPS・PE・その他	149	116	128%	147	102%
合 計	876	718	122%	860	102%

品目別売上高

■ 枚葉機 ■ 輪転機・証券印刷機 ■ 中古・部品修理 ■ DPS・PE・その他

(億円)

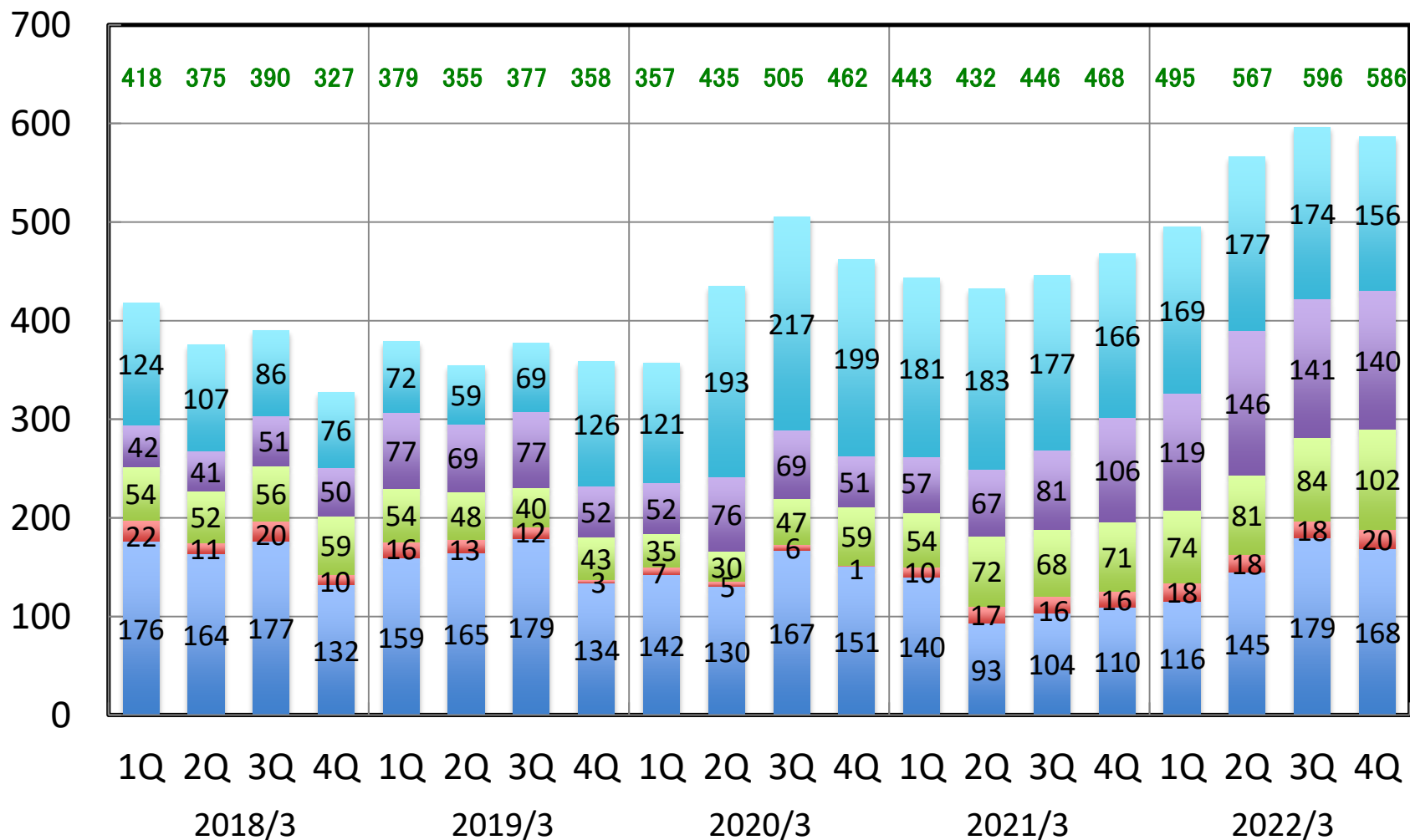
◆ 通期(前期比)



受注残高の推移

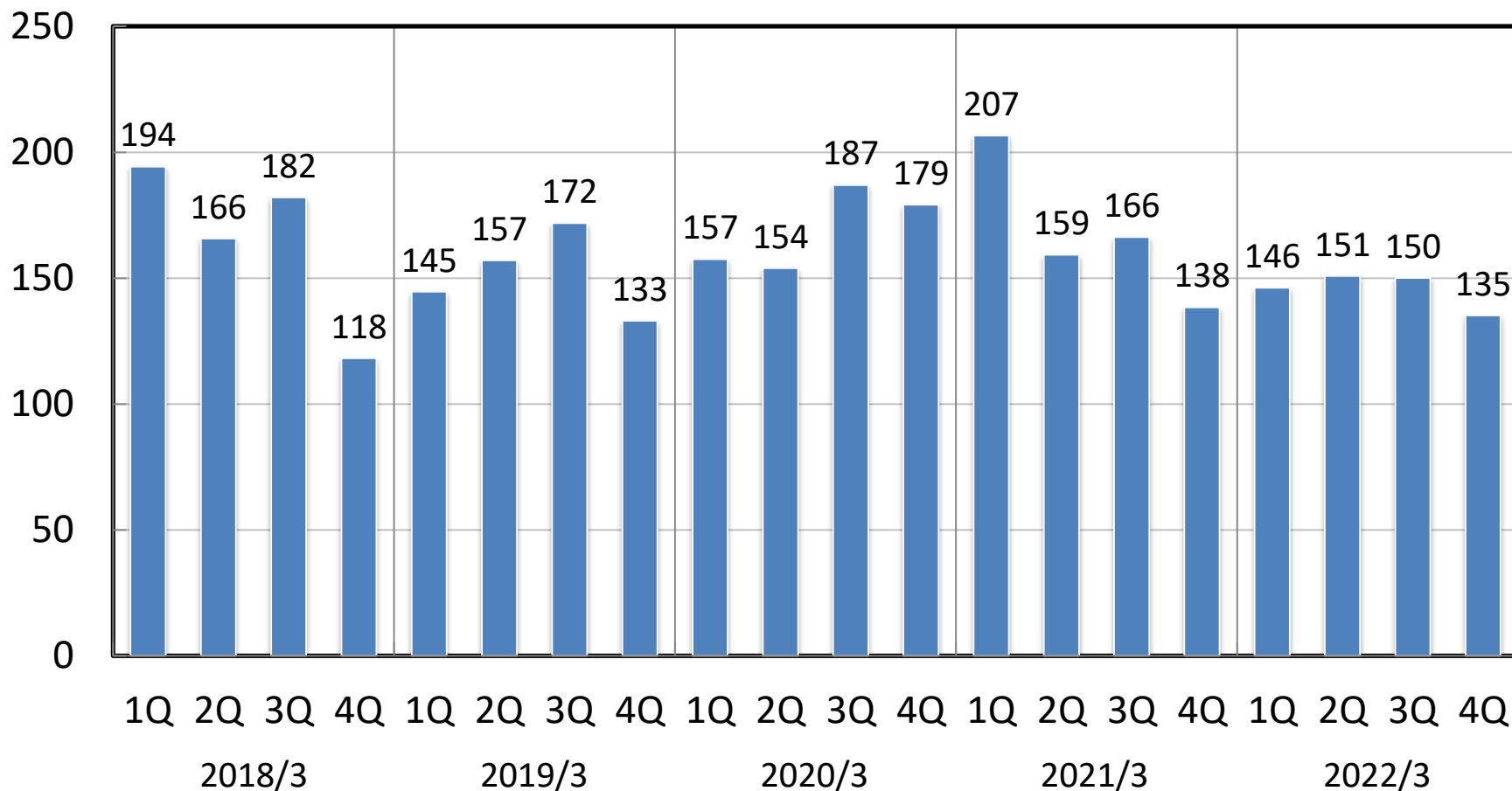
(億円)

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ その他地域

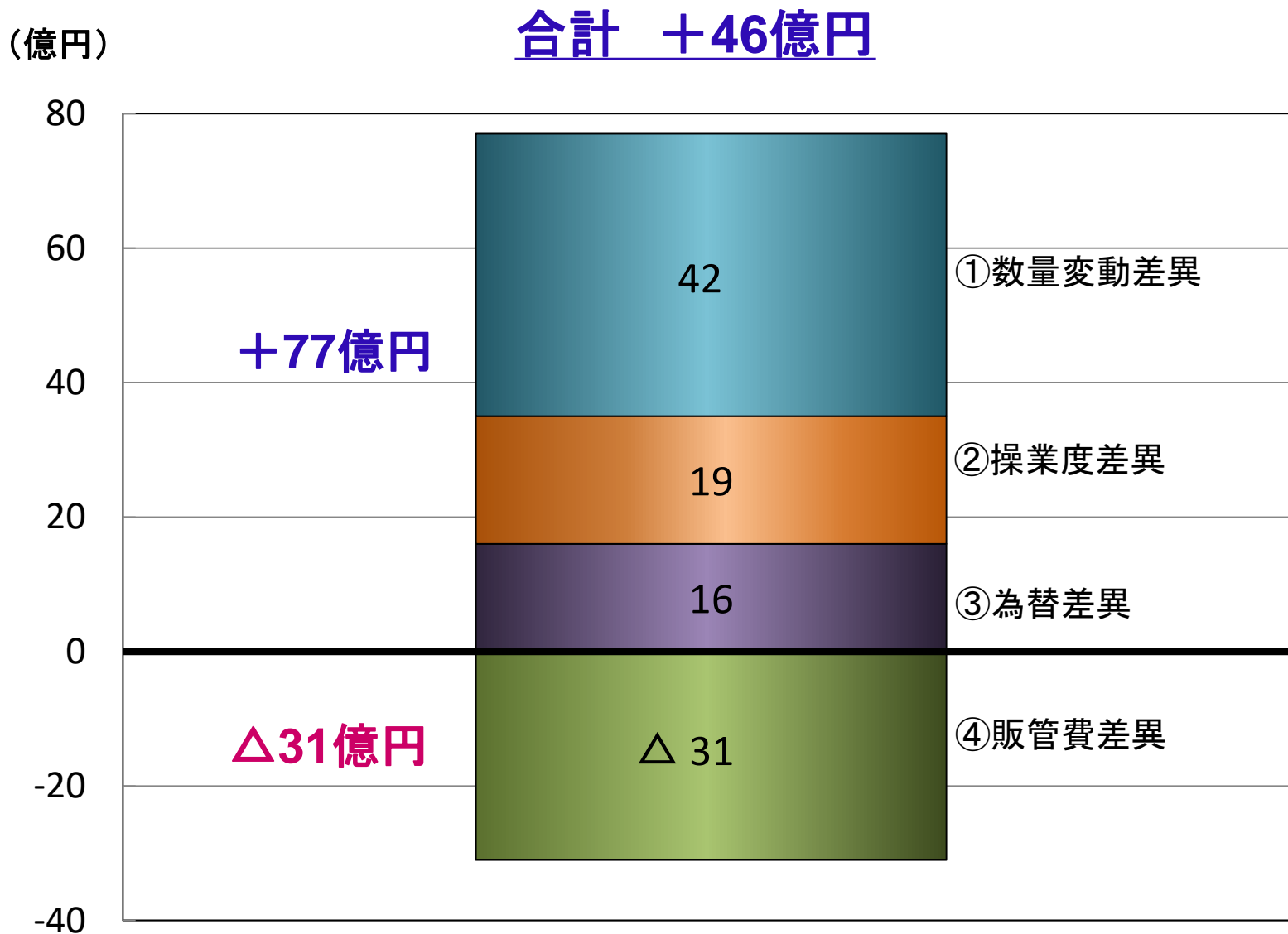


製品在庫の推移(原価ベース)

(億円)



営業損益の変動要因(対 前期比)



業績見通し

(単位:億円)

		2023/3			2022/3 前期実績	差額	前期比
		上期計画	下期計画	通期計画			
受注高		528	412	940	976	△ 36	96%
売上高		474	454	928	876	52	106%
営業利益		15	19	34	23	11	150%
経常利益		17	20	37	34	3	109%
親会社株主に帰属する 当期純利益		14	15	29	62	△ 33	47%
平均レート(円)	US\$	120.00	120.00	120.00	112.86	/	/
	EUR	130.00	130.00	130.00	131.01		
期末レート(円)	US\$	120.00	120.00	120.00	122.39		
	EUR	130.00	130.00	130.00	136.70		

地域別受注高 予想

(単位:億円)

	2023/3			2022/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
日 本	158	161	318	299	19	106%
北 米	45	38	83	82	1	102%
(百万ドル)	(37)	(32)	(69)	(72)	(△3)	(96%)
欧 州	119	72	191	230	△39	83%
(百万ユーロ)	(92)	(56)	(147)	(176)	(△28)	(84%)
中 華 圏	101	91	192	234	△42	82%
そ の 他 地 域	106	50	155	131	24	119%
合 計	528	412	940	976	△36	96%

品目別受注高 予想

(単位:億円)

	2023/3			2022/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
枚 葉 機	244	214	458	539	△81	85%
輪転機・証券印刷機	101	18	119	81	39	148%
中古・部品修理	104	96	199	178	22	112%
DPS・PE・その他	80	84	163	178	△15	92%
合 計	528	412	940	976	△36	96%

地域別売上高 予想

(単位:億円)

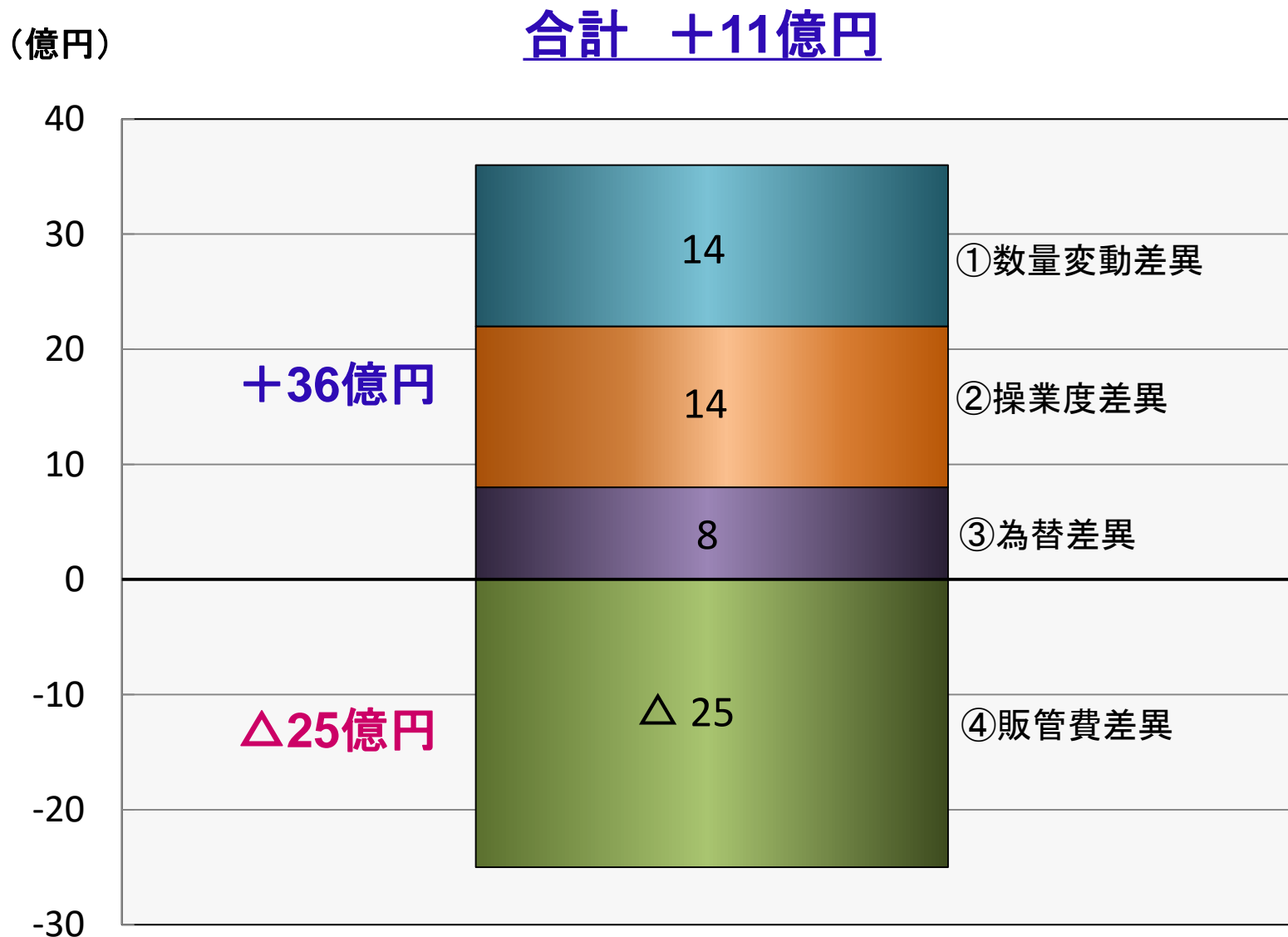
	2023/3			2022/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
日 本	128	177	305	240	66	127%
北 米	43	45	88	79	9	111%
(百万ドル)	(36)	(37)	(73)	(70)	(3)	(104%)
欧 州	113	76	189	205	△16	92%
(百万ユーロ)	(87)	(58)	(145)	(156)	(△11)	(93%)
中 華 圏	110	80	190	208	△18	91%
そ の 他 地 域	79	77	156	145	12	108%
合 計	474	454	928	876	52	106%

品目別売上高 予想

(単位:億円)

	2023/3			2022/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
枚 葉 機	256	203	459	435	24	106%
輪転機・証券印刷機	50	62	112	109	3	103%
中古・部品修理	95	97	192	184	9	105%
DPS・PE・その他	73	91	165	149	16	111%
合 計	474	454	928	876	52	106%

2023/3月期 営業損益(予想)の変動要因(対 前期比)



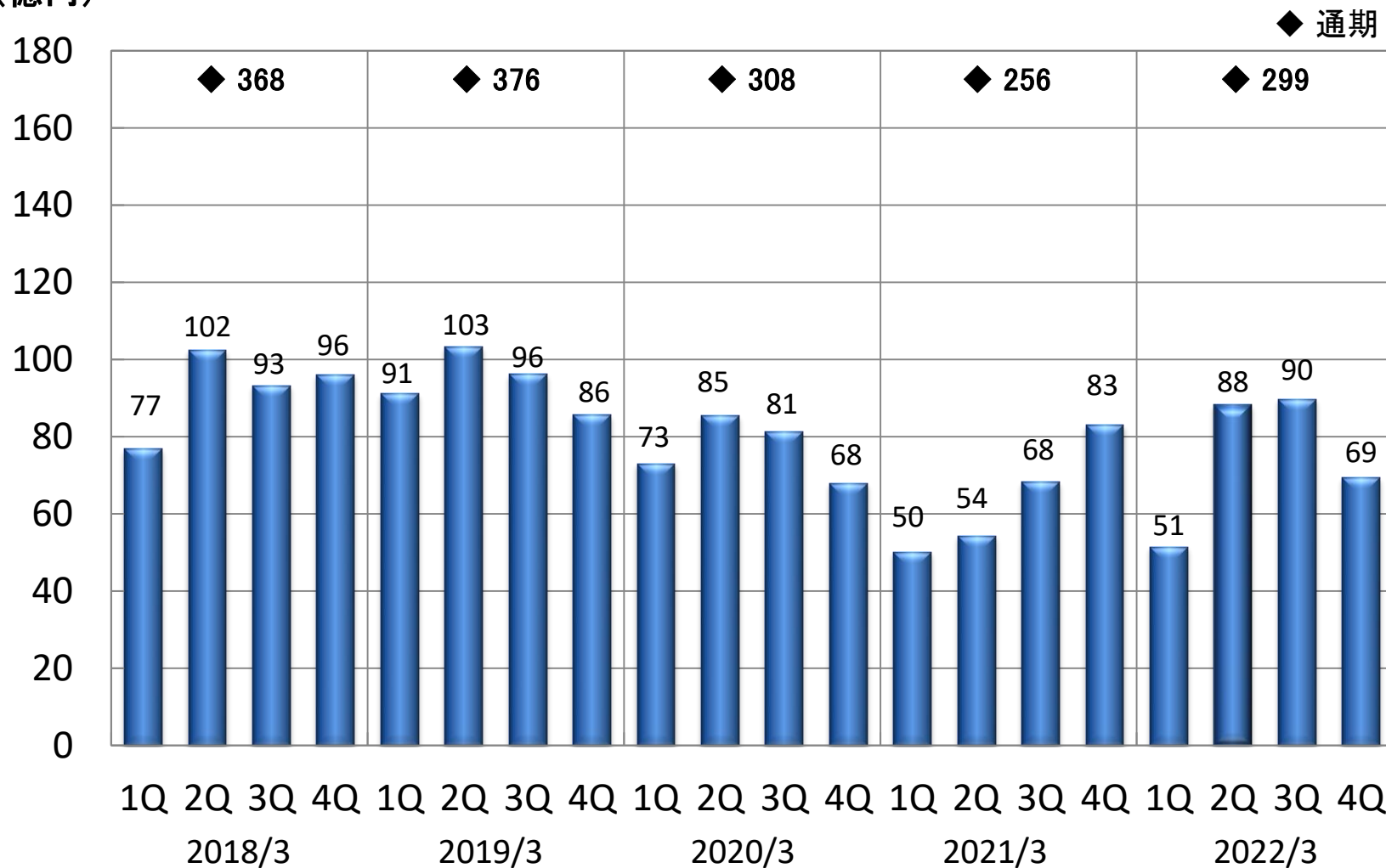
設備投資・減価償却費・開発費

(単位:百万円)

	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3 予想
従業員数(名)	2,227	2,335	2,363	2,686	2,613	2,650
人件費	20,245	20,908	20,386	20,199	22,122	22,500
設備投資額	1,201	1,334	1,678	1,394	2,307	2,800
減価償却費	1,889	1,965	2,304	1,604	1,822	1,800
研究開発費	4,785	4,740	4,899	4,002	4,050	4,400
(売上高比)	(5.1%)	(5.3%)	(6.3%)	(5.6%)	(4.6%)	(4.7%)

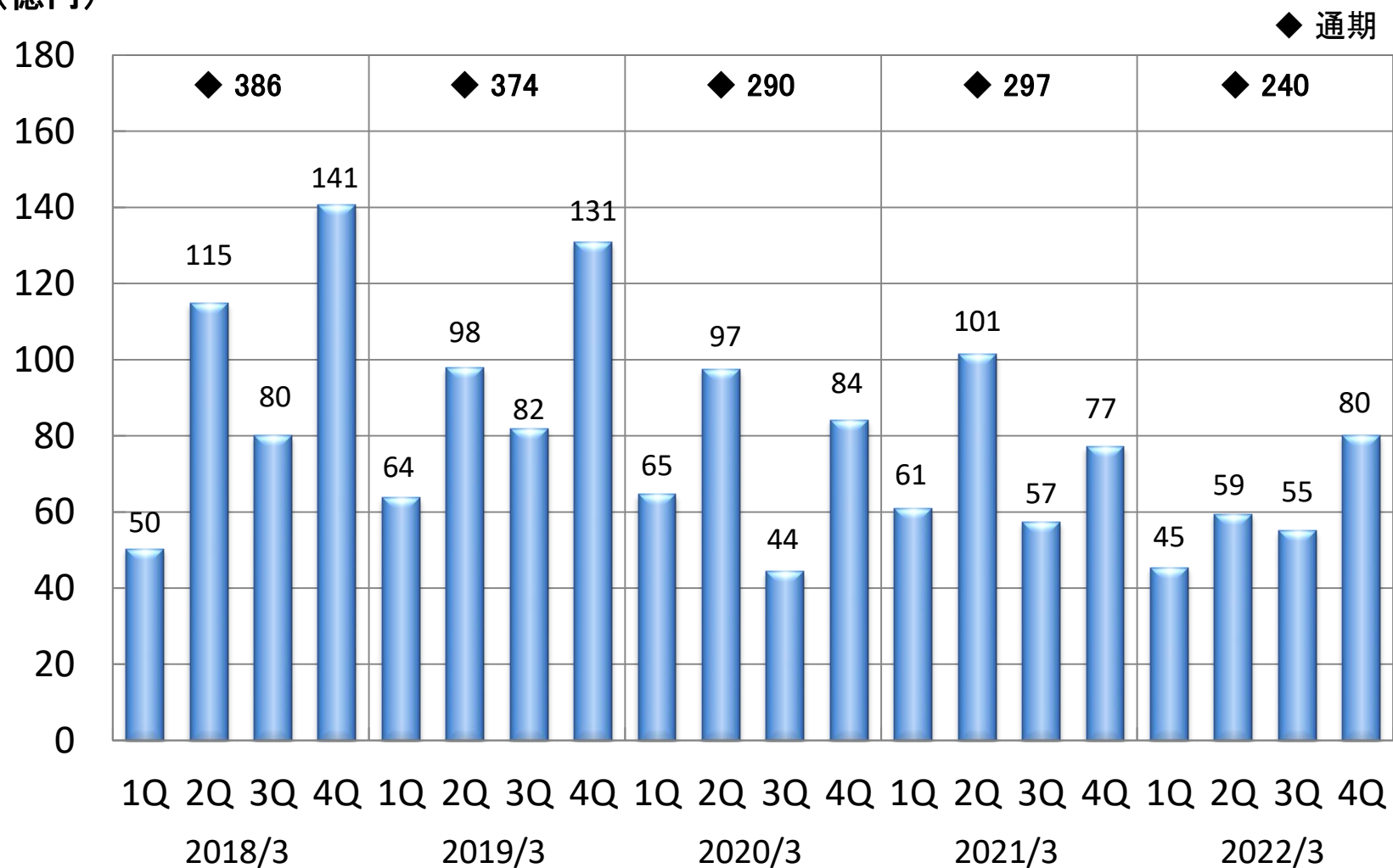
日本 受注高

(億円)



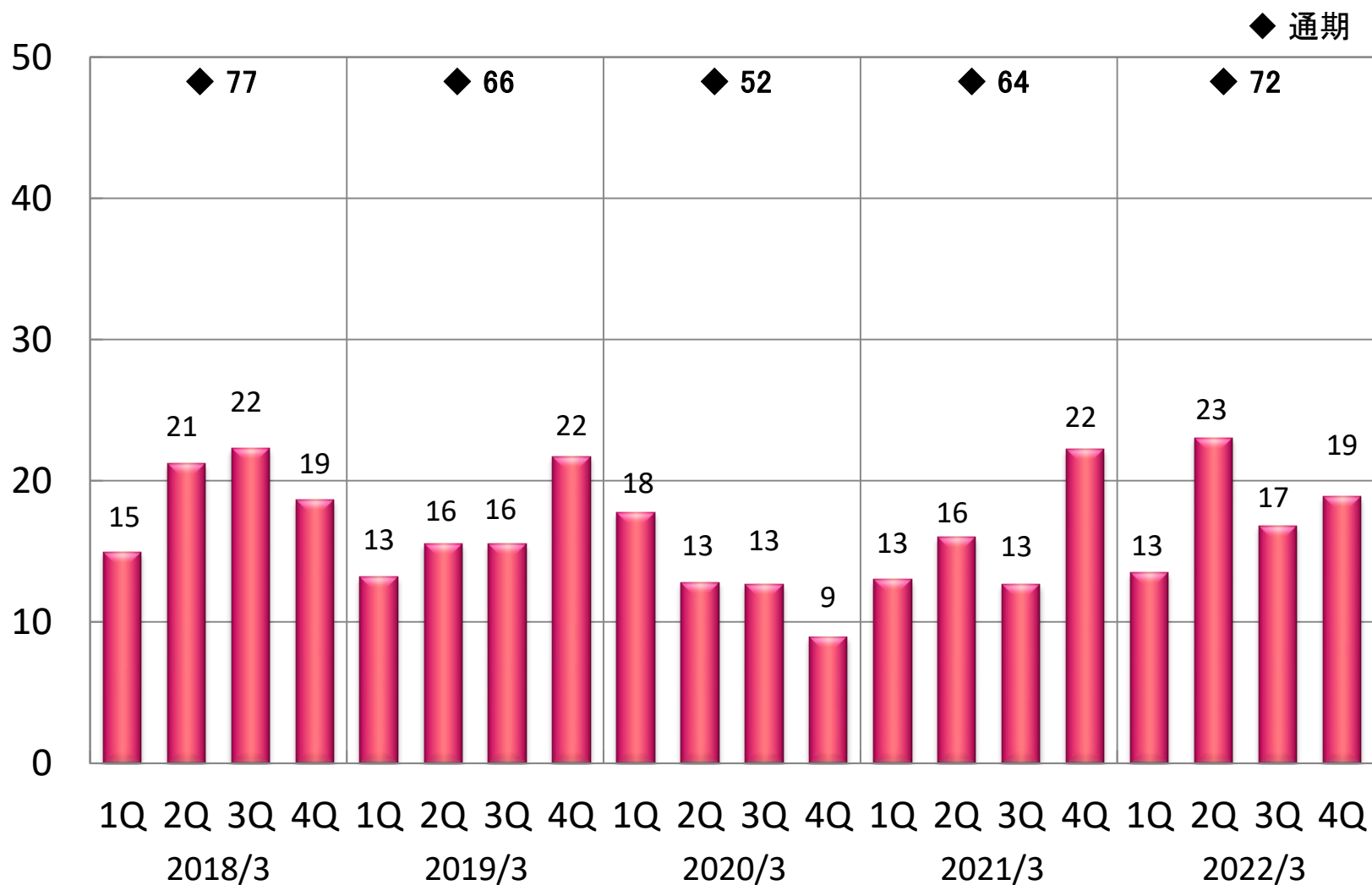
日本売上高

(億円)



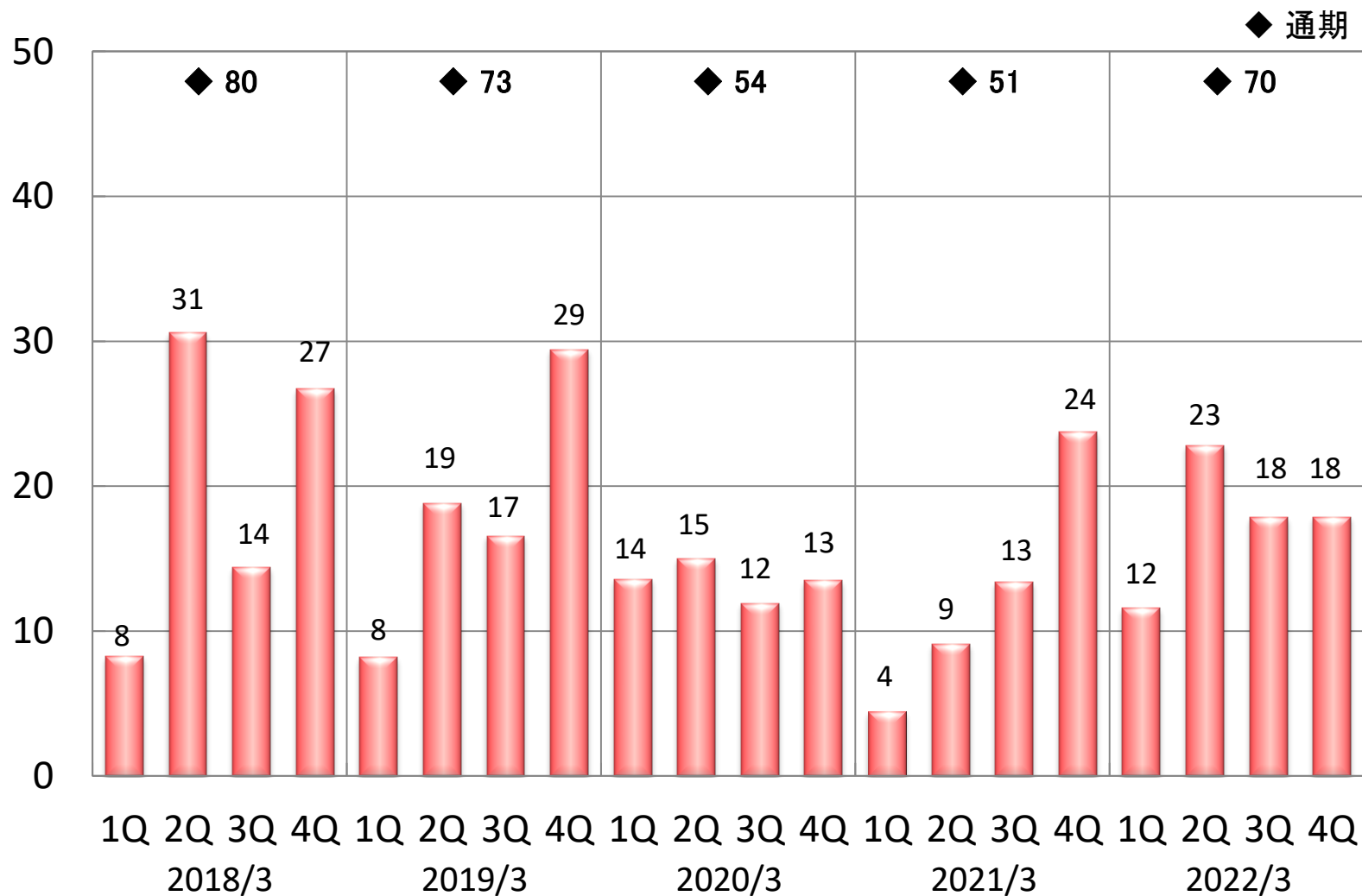
北米 受注高

(million \$)



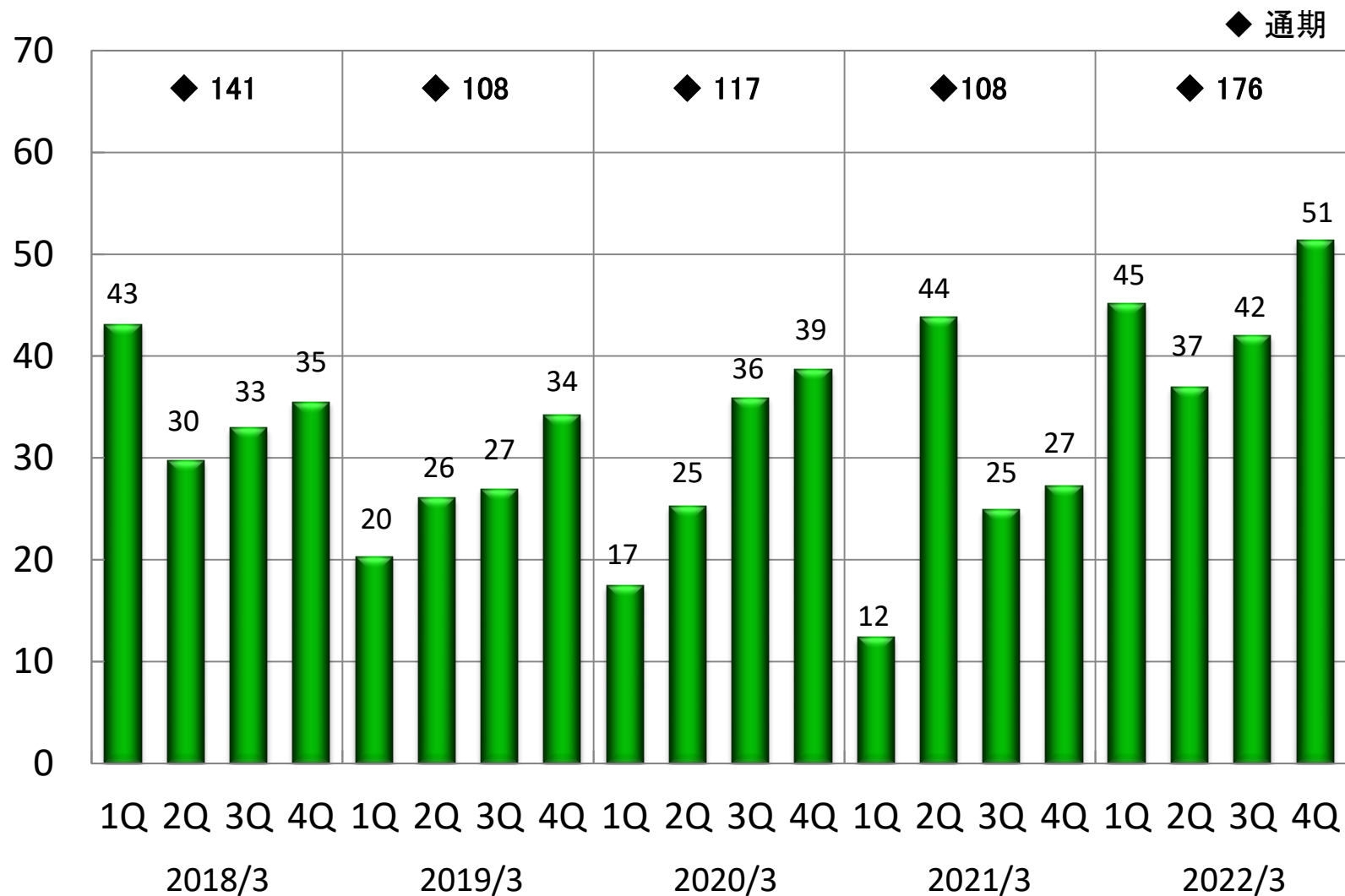
北米売上高

(million \$)



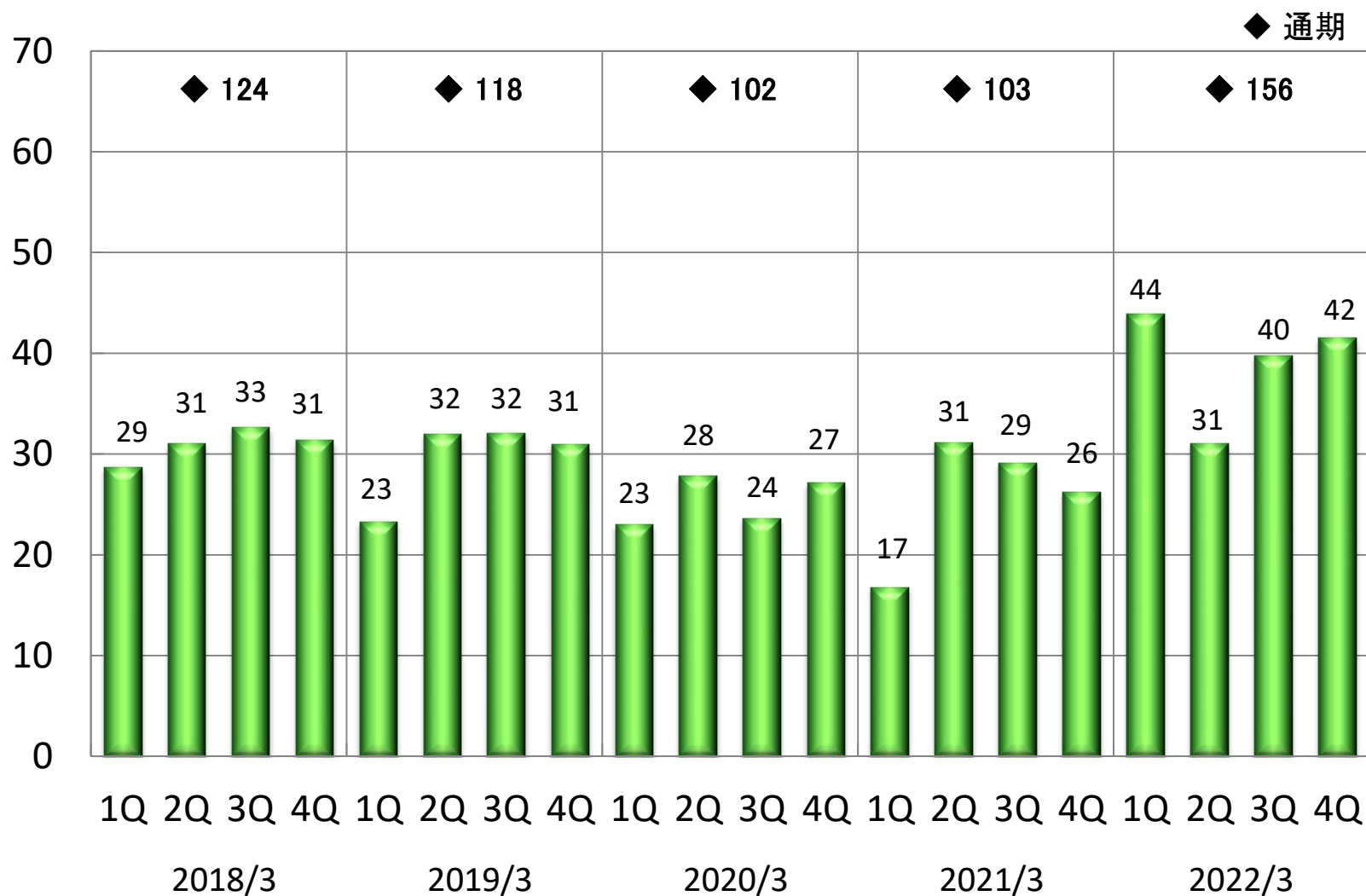
欧州 受注高

(million EUR)



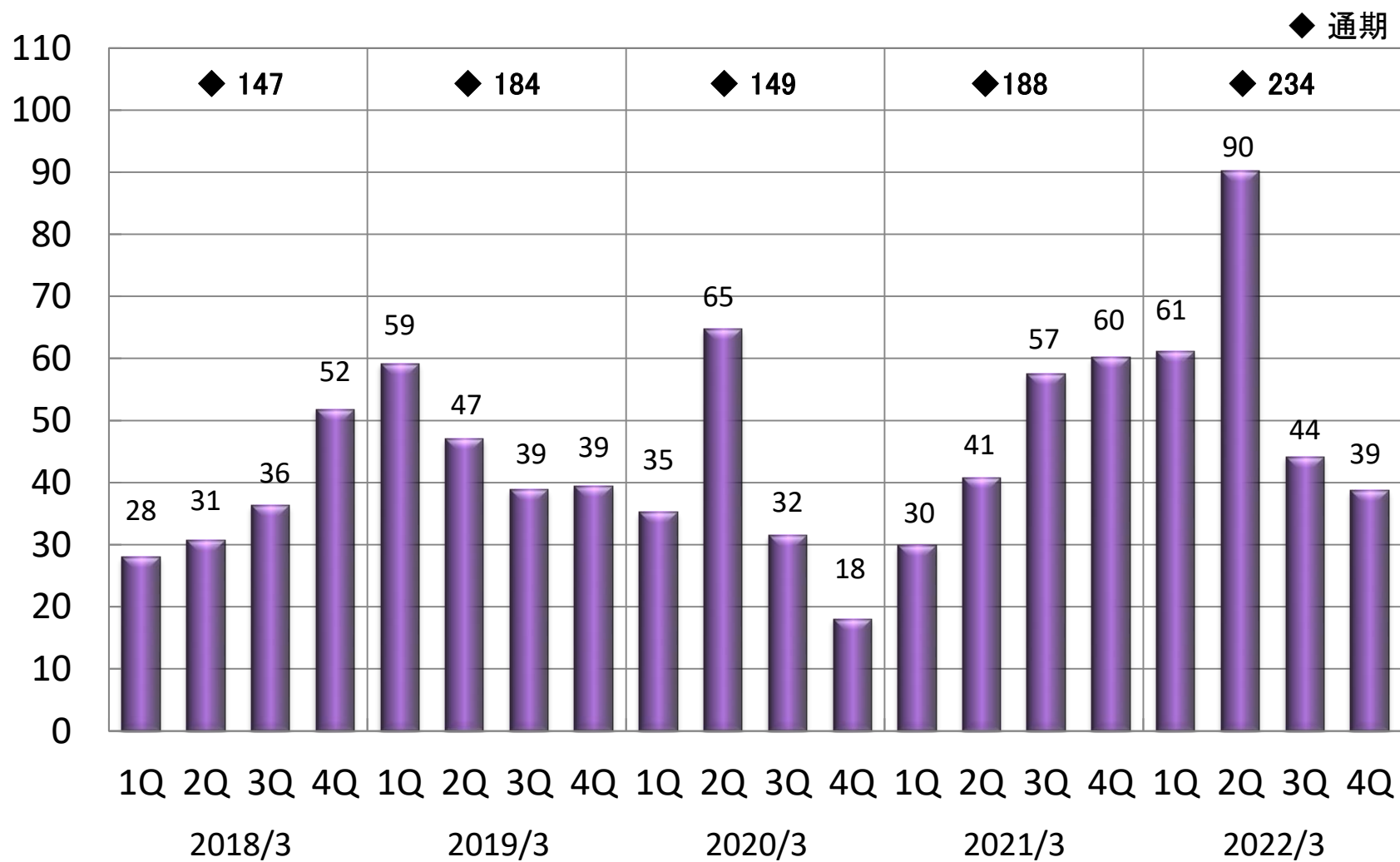
欧州売上高

(million EUR)



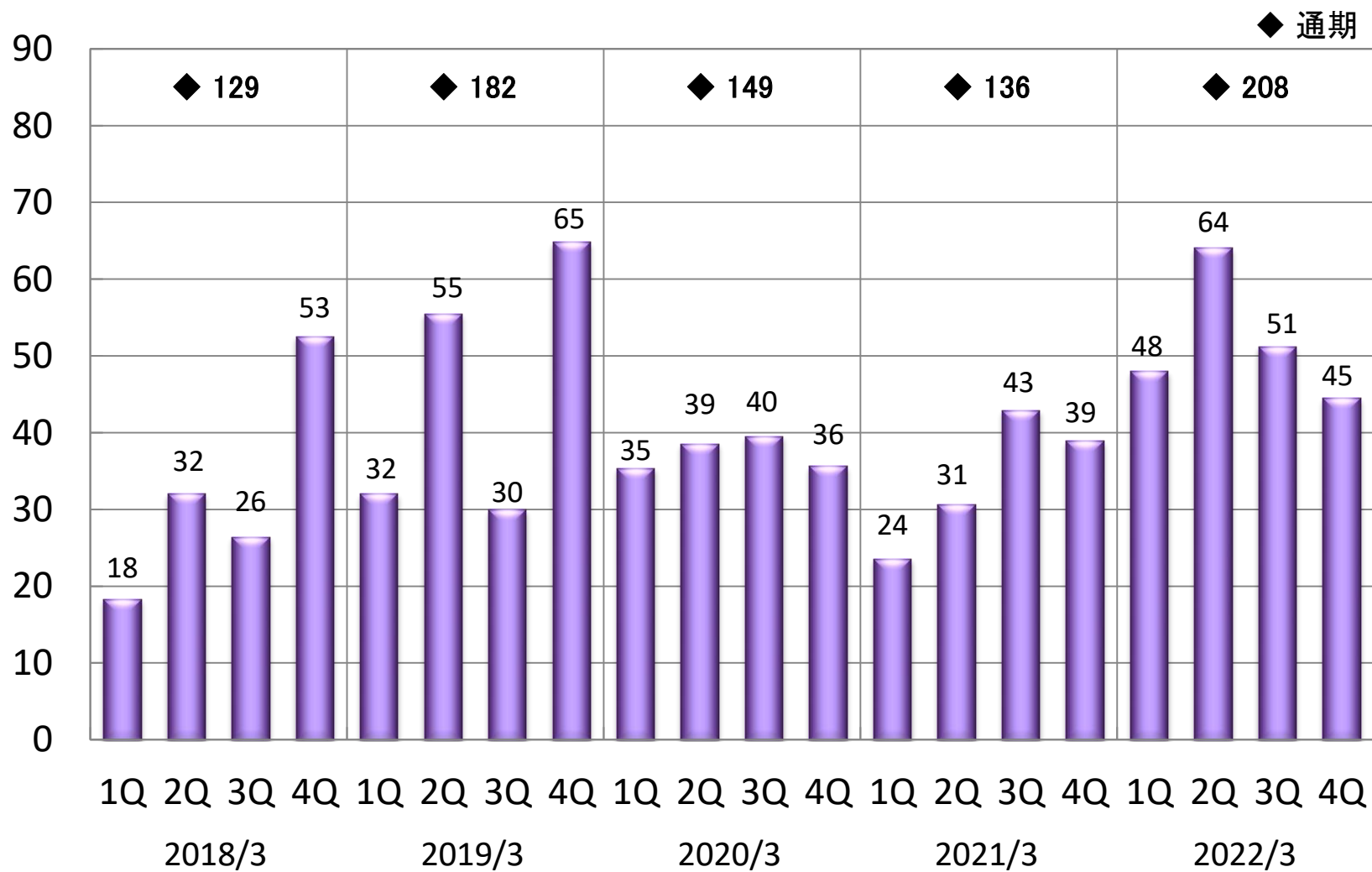
中華圏 受注高

(億円)



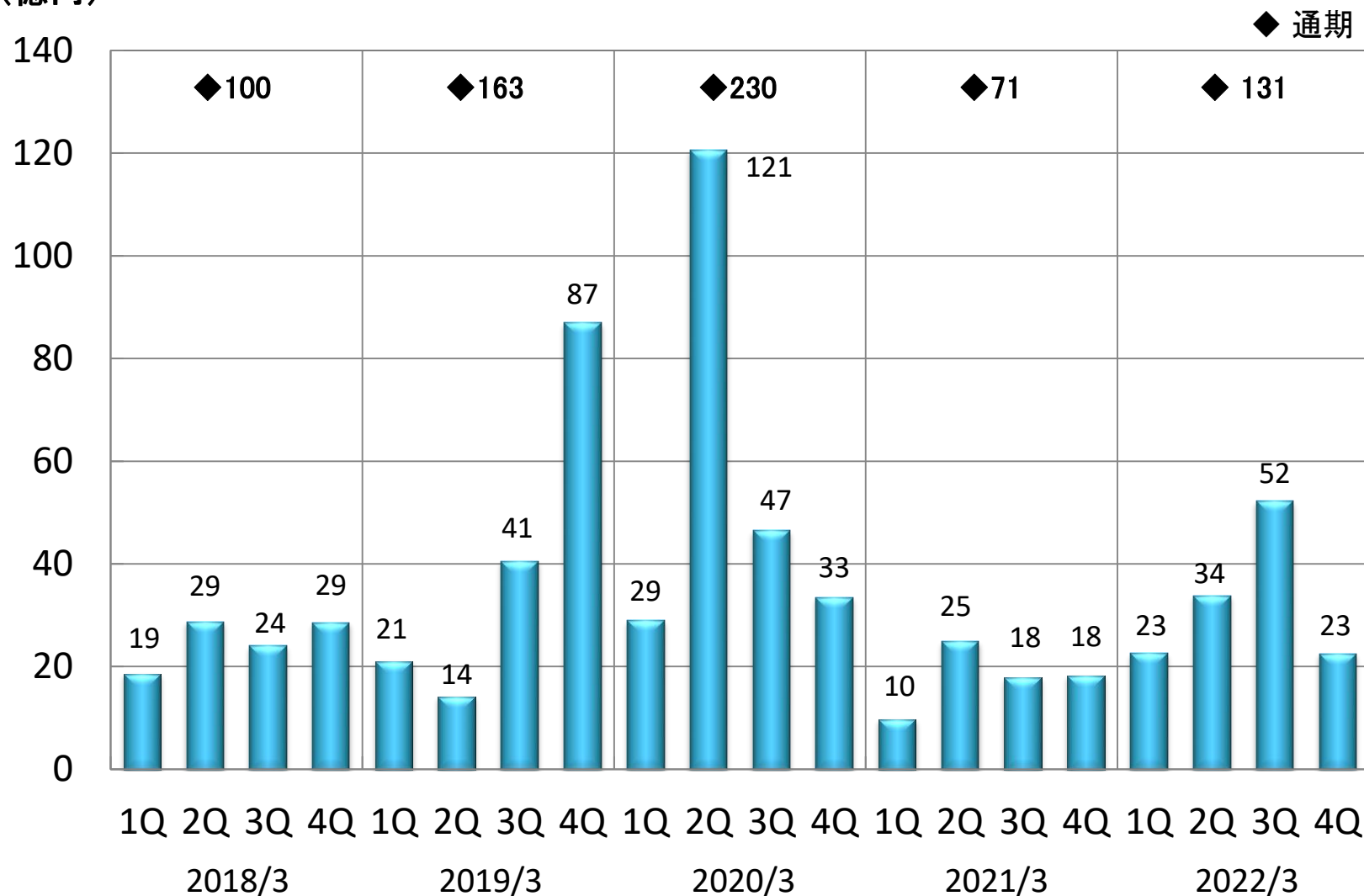
中華圏売上高

(億円)



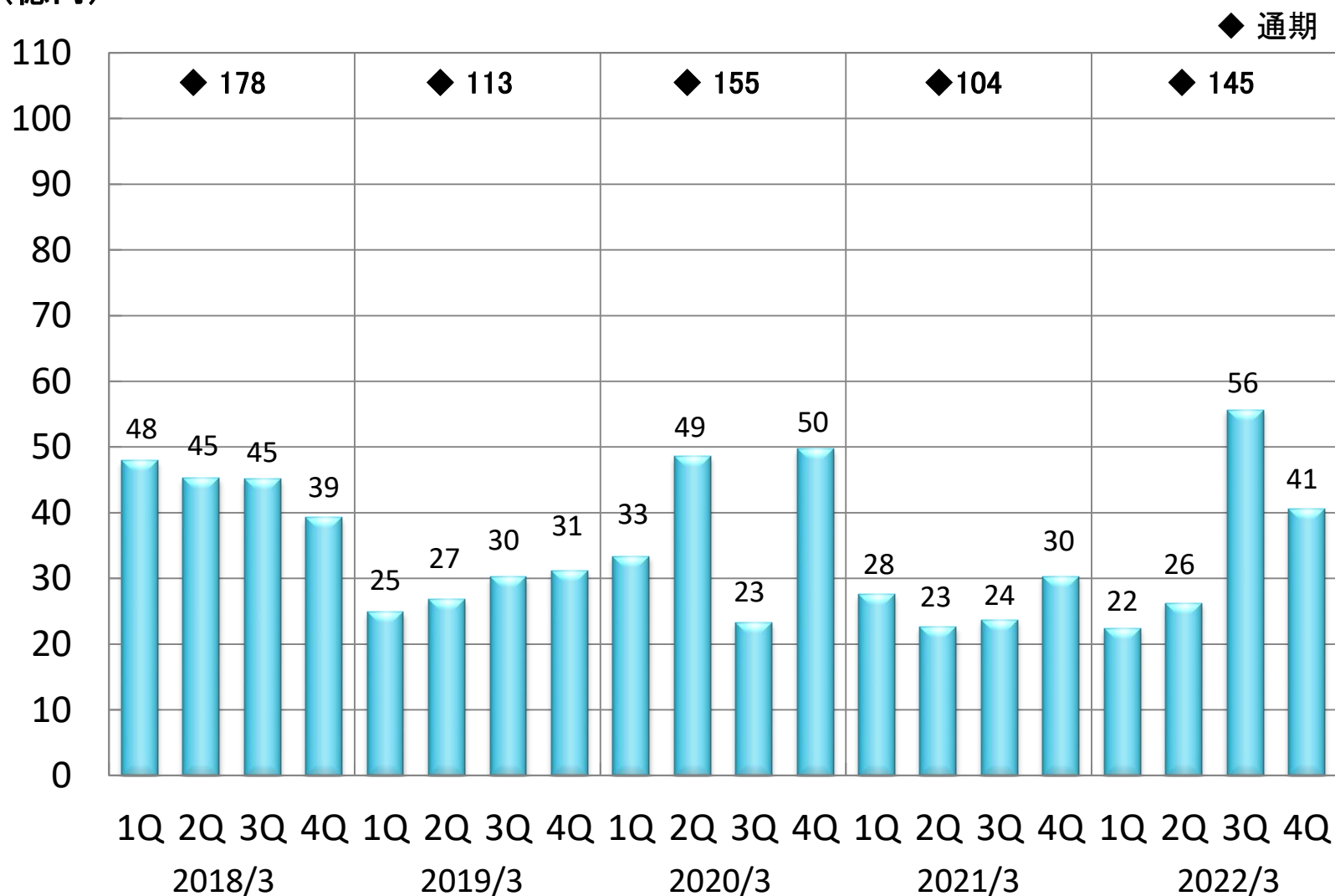
その他地域 受注高

(億円)



その他地域 売上高

(億円)



2022年3月期 経営概況



2022年5月24日

株式会社 小森コーポレーション

代表取締役社長 持田 訓

1. 2022年3月期実績と2023年3月期計画
 - 1)海外グループ会社の受賞
 - 2)コロナウィルス感染症の印刷事業への影響
 - 3)各地域市場動向
 - 4)2022年3月期実績と2023年3月期計画

2. 2023年3月期 経営方針

3. ESG(SDGs)対応（社会・環境への取り組み）
 - 1) 当社のESG経営の取組み状況
 - 2) 情報開示の取組み
 - 3) Green-PJ（環境対策）の進捗

1. 2022年3月期実績と2023年3月期計画

- 1) 海外グループ会社の受賞
- 2) コロナウィルス感染症の印刷事業への影響
- 3) 各地域市場動向
- 4) 2022年3月期実績と2023年3月期計画

2. 2023年3月期 経営方針

3. ESG(SDGs)対応（社会・環境への取り組み）

- 1) 当社のESG経営の取組み状況
- 2) 情報開示の取組み
- 3) Green-PJ（環境対策）の進捗

海外グループ会社の受賞

MBOが2年連続でグローバルマーケットリーダー チャンピオンに選出

- MBOは、ドイツの経済誌『WirtschaftsWoche』の「グローバルマーケットリーダーチャンピオン」に2年連続で選出されました。2018年および2019年の「グローバルマーケットリーダー 未来のチャンピオン」賞に続く受賞。
- 評価基準は、クリストフ・ミュラー博士の科学的指導の下サンクトガレン大学が作成した、最新の世界市場リーダー指数。

「グローバルマーケットリーダーチャンピオン」への企業選出は、以下の基準に基づいています。

1. 関連する市場（セグメント）で1位または2位にランクしている
2. 年間売上高が5,000万ユーロ以上であり、うち50%はドイツ国外の3大陸以上で獲得している
3. ドイツ国内に少なくとも本社機能の一部を保有している



トーマス・ハイニングガー
(MBOグループCEO)

コモリ・アメリカと米国Spectrum Printing社 がDigital Packaging Summit 2021の紙 器部門で部門賞を受賞

- コモリ・アメリカ・コーポレーションと米国の印刷会社 Spectrum Printing社（アリゾナ州ツーソン）は、11月8日～10日にフロリダ州ポンテベドラビーチで開催されたDigital Packaging Summit 2021において、紙器部門のベストケーススタディー賞を受賞しました。
- 当社の29インチ枚葉UVインクジェットデジタルプリンティングシステム インプレミアIS29の特長である、様々な原反への印刷対応力や正確なカラーマッチングが、同社のクリエイティブなパッケージ制作に寄与したことが取り上げられました。



世界経済の動向と印刷事業への影響

・新型コロナウイルス感染症からの緩やかな回復

- ・ 各国の財政政策やワクチン接種の普及による経済全体の景気回復とともに印刷会社への各国政府の経済政策により緩やかな回復基調にあります。一方、経済活動再開による物流の混乱や素材の高騰に加え、需要回復に伴う半導体をはじめとする部品の供給不足など印刷機生産への負の影響がみられました。また、各国の金融引き締め等に起因する為替の変動などの不安定要素があり、世界経済は先行き不透明な状況が続いています。

・生産性向上の取り組みの広がり

- ・ 印刷機販売の需要動向につきましては、先進国を中心とした取り組みが進むDX（デジタルトランスフォーメーション）により、出版関係や商業印刷分野での印刷物は減少が予測されるものの、高付加価値印刷やパッケージ印刷の需要は日本や欧米など先進国でも堅調に推移することが予測されております。また、昨今の資材供給難や材料費・物流費・人件費の高騰は印刷産業にも影響を及ぼしており、印刷業界では生産性向上の取り組みがより一層求められております。

地域	2022年3月期の状況	2023年3月期の見通し
<u>日本</u>	<ul style="list-style-type: none"> •まん延防止の影響で印刷会社の売上減少傾向は継続し効率化に向けた事業の再編が加速しており二極化が更に拡大しました。設備投資補助金により投資が継続した。 	<ul style="list-style-type: none"> •材料の高騰で印刷会社の原価が上がり収益は更に厳しくなり廃業・倒産・M & Aが加速する見通しで、設備投資は人口が多くビジネスが動いている主要都市に絞られ地域の二極化が進む見通しです。昨年同様に設備投資補助金が投資を下支えする。
<u>北米</u>	<ul style="list-style-type: none"> •新型コロナウイルス感染のピークアウトに伴う景気の持ち直しで積み上がった過剰貯蓄の取崩しなどにより売上台数は昨年比大幅増となりましたが、サプライチェーンの混乱により、用紙、インク原料供給不足、コスト増が顕著になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> •商業印刷の売上は2022年前半で8~9%の上昇、インフレ対策で景気の減速が懸念される年後半は3%前後の低下が予想されます。DM/カートン市場の成長は持続、デジタル印刷市場もWebとの連動/パーソナル化や短納期化ニーズへの対応で拡大が予想されます。
<u>欧州</u>	<ul style="list-style-type: none"> •新型コロナウイルス感染による買い控えの反動により売上、受注共に昨年比著しく改善しましたが供給制約、需給逼迫による物価上昇が加速、印刷資材も供給難、価格高騰に直面しました。 	<ul style="list-style-type: none"> •インフレが加速し、金利上昇、金融引き締めでドイツ機械産業界の景況感は急速に悪化し欧州全域にも波及しつつあり、東欧ではウクライナ戦争の影響で受注済み案件のキャンセルリスクもあります。資材の供給難や価格の上昇は商業印刷、パッケージ印刷を問わず業界の業績悪化に拍車をかけており、設備投資への慎重姿勢を助長する恐れがあります。

地域	2022年3月期の状況	2023年3月期の見通し
----	-------------	--------------

中華圏

- 国内では新型コロナウイルス感染症の発生が続いていましたが再拡大へのゼロコロナ政策により、全国的なロックダウンのため多くの商業活動が停滞しました。
- 商業印刷の減少から設備投資計画にも影響があり、部品供給不足から受注済み案件の出荷遅れも発生しました。

- 労働力不足,賃金高騰による印刷工程の効率化を追求する需要が見込まれ、機械の大型化、商業印刷会社でパッケージ需要の期待から多色化傾向が継続する見通しです。
- 新型コロナウイルス感染症再拡大と都市のロックダウンの影響により設備投資はペースダウンが予測されます。

【インド】

- 中小印刷会社の経済活動は再開しましたが以前の状態には戻りませんでした。パッケージ印刷向けの需要は旺盛で売上比率が過去最高となりました。

【インド】

- 遅延していた政府系入札案件と中小印刷会社の設備再開需要に期待しています。大手印刷会社とパッケージ印刷向けの需要は継続増加の見通しです。

【韓国】

- 更新需要の取り込みと残業規制等に向けたダウンサイジング提案により受注は修正予算を上回る結果となりました。

【韓国】

- 2023年3月期も継続して更新需要、ダウンサイジングが継続する見通しです。

【アジアパシフィック】

- 好調であったベトナム市場は新型コロナウイルス感染症の拡大により失速しましたがインドネシアが徐々に回復し、タイ、豪からも需要が出始めました。

【アジアパシフィック】

- インドネシア、タイの需要は継続しており新型コロナウイルス感染症の規制緩和の動きにより出遅れたベトナムも回復する見通しです。マレーシアも徐々に活発化する見通しです。

その他

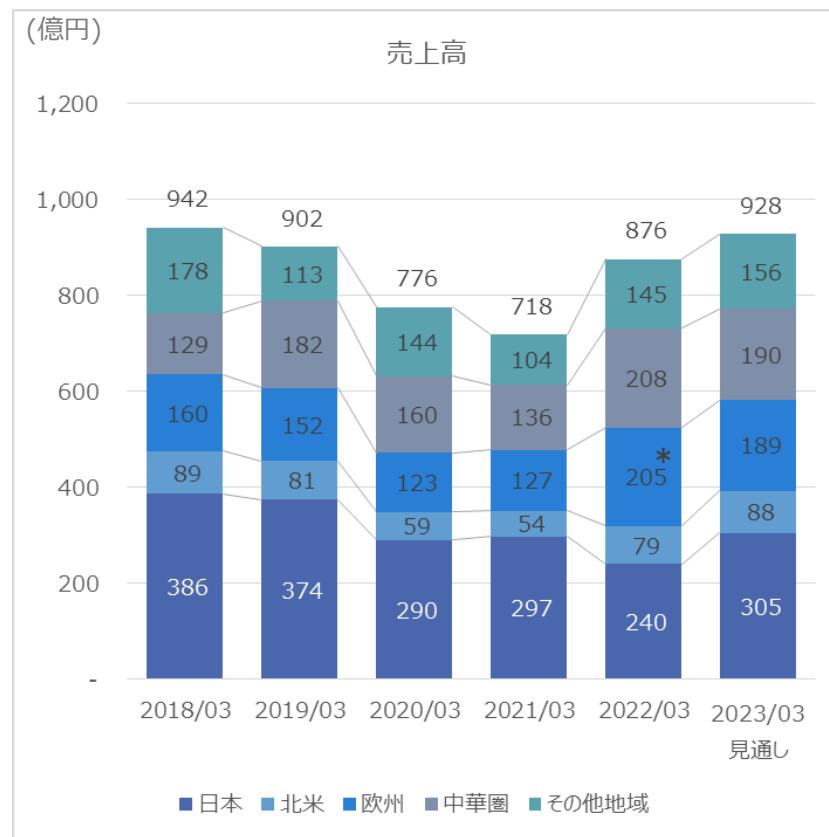
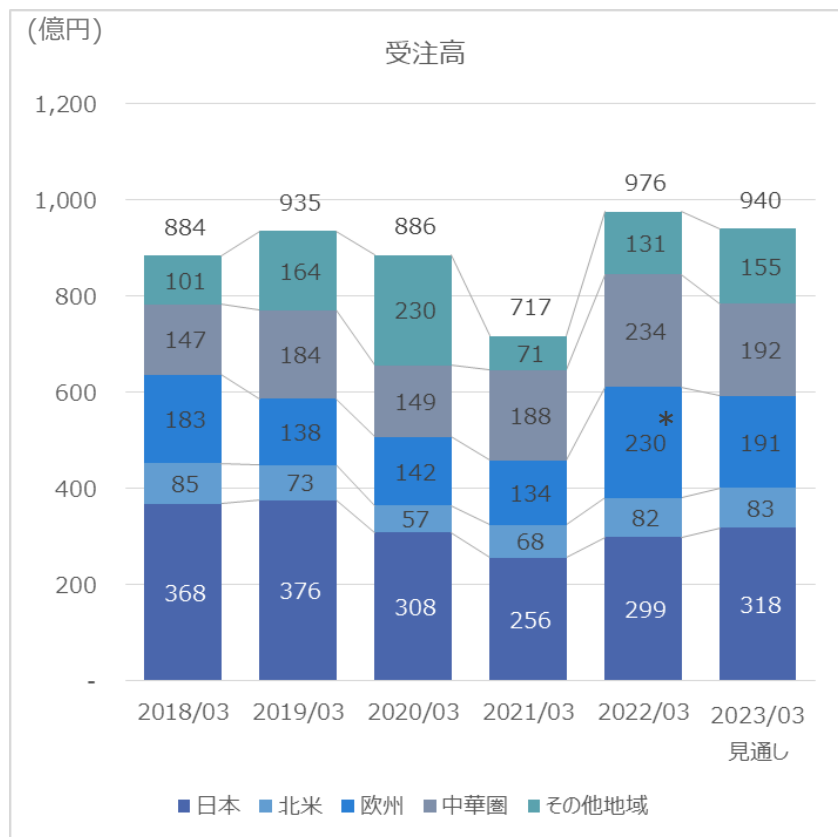
- ◆ 2022年3月期は欧州、中華圏の経済の回復により受注、売上ともに大幅な増収
- ◆ 2023年3月期は不確実性が残るが受注は2022年3月期並みで売上は堅調に伸びる見通し

受注高

2022年3月期実績：976億円（2021年3月期比:136%）
 2023年3月期計画：940億円（2022年3月期比: 96%）

売上高

2022年3月期実績：876億円（2021年3月期比:122%）
 2023年3月期計画：928億円（2022年3月期比:106%）



* : MBO買収に伴う期ずれを含む

1. 2022年3月期実績と2023年3月期計画

- 1) 海外グループ会社の受賞
- 2) コロナウィルス感染症の印刷事業への影響
- 3) 各地域市場動向
- 4) 2022年3月期実績と2023年3月期計画

2. 2023年3月期 経営方針

3. ESG(SDGs)対応（社会・環境への取り組み）

- 1) 当社のESG経営の取組み状況
- 2) 情報開示の取組み
- 3) Green-PJ（環境対策）の進捗

オフセット事業は自動化ソリューション強化とグローバル展開強化

LITHRONE Advanceモデル拡充と戦略モデルで商品力を強化

- パッケージ印刷向け戦略モデル/アジア地域向け戦略モデルを投入

DXを活用し、製造の生産性を極大化する

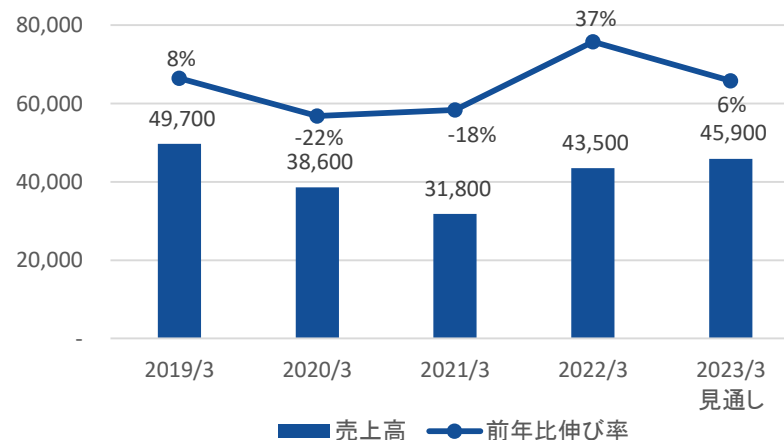
- Connected Automationコンセプトのもと生産をよりシンプルに連結する
- 準備時間短縮/自動化/KP-Connectなどのスマートファクトリー化技術の追及

お客様の稼働データからROIを示すソリューション販売に転換

- お客様の投資とリターンをデータで示すソリューション販売を海外に展開



オフセット事業 売上高と前年比伸び率



証印事業は差別化戦略と事業領域拡大戦略

差別化戦略

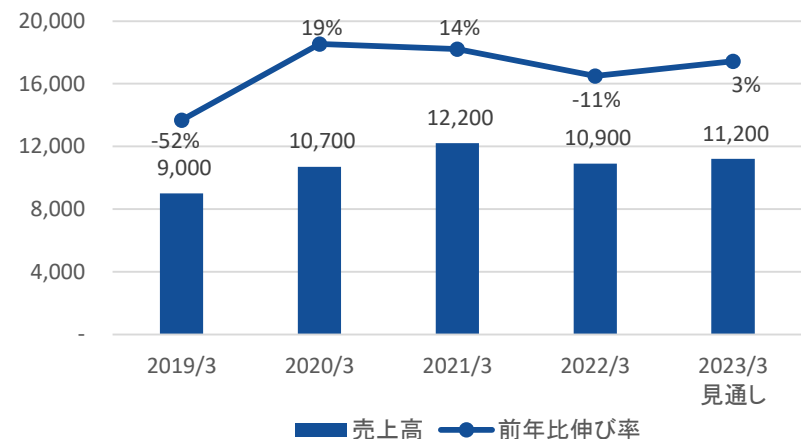
- 現行機種種の顧客別入札対応とラインナップ強化
- Sustainability/Productivity/Profitabilityを重点方針とした商品企画

事業領域拡大戦略

- アフターセールスサービス事業の推進
- パスポートなどの高度な偽造防止能力を要する印刷物向けに販売拡大



輪転/証印事業 売上高と前年比伸び率



PESPによる営業の業態変革を加速

RepairからCareへ

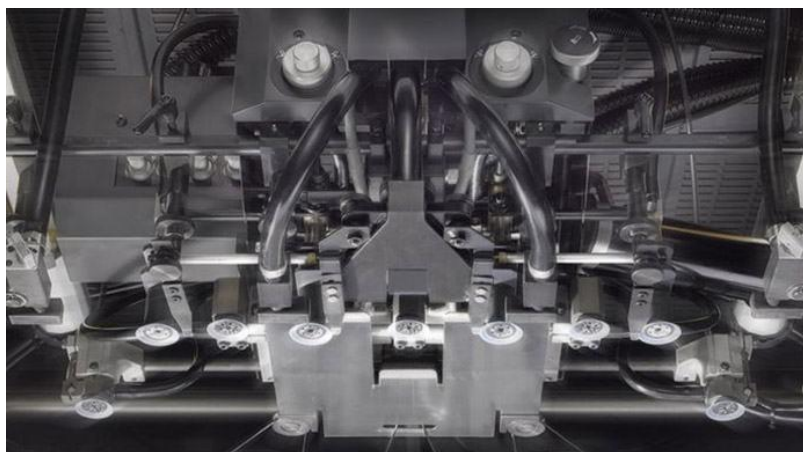
- 壊れる前に計画的に点検整備を行いお客様のビジネスへの影響を最小化
- 証印事業でKomori-Kareの販売を開始、印刷機と組合せてサービスを販売

遠隔リモート修理支援サービス

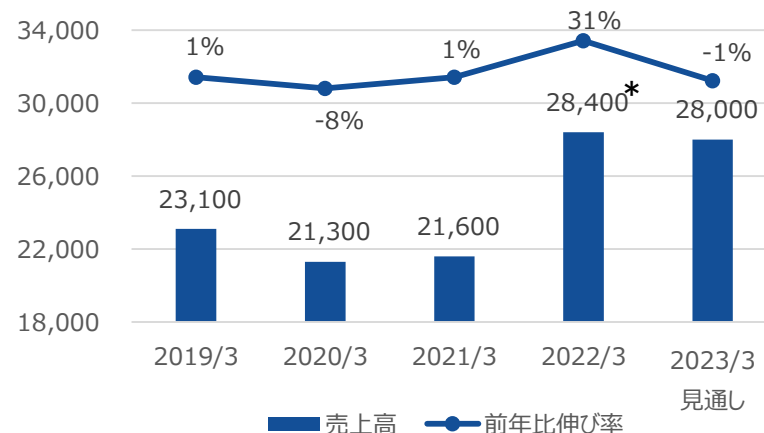
- ネットワークやウェアラブルグラスによる遠隔メンテナンス支援とユーザーのスキル補助

印刷機の見える化から印刷工場の工程管理へ進化

- KP-Connectによる工程管理で生産の自動化、工場全体のスマートファクトリー化を支援



PESP事業 売上高と前年比伸び率



* : MBO買収に伴う期ずれを含む

: PESP売上高は、各セグメントに含まれるPESP売上とサービス売上を含んでいます。

成長事業の探索：M&Aを含む新規事業へ取り組み

印刷技術/精密機械製造技術を核とした新規事業の探索

- 印刷技術を新たな領域へ広げる新規事業について引き続きパートナーシップとM&Aを探索

印刷機製造技術で次世代デジタル印刷機を目指すDPS事業

- IS29のリカーリングビジネスの推進と次世代技術開発に注力

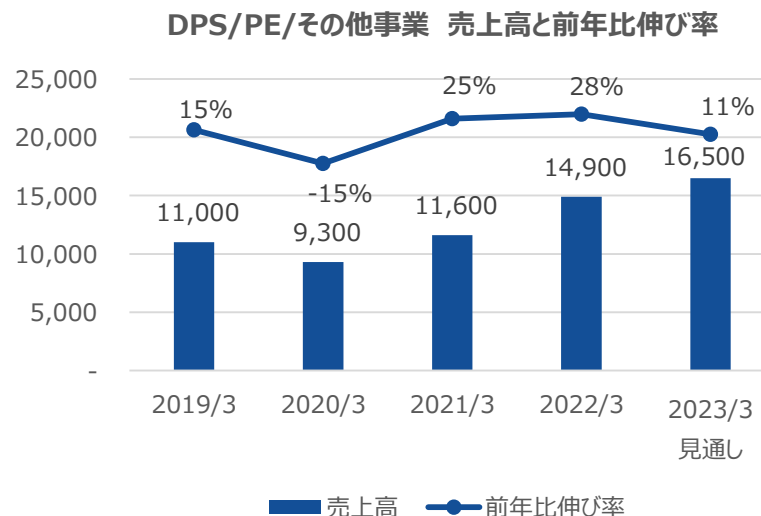
DPS事業



PE事業



MBO事業



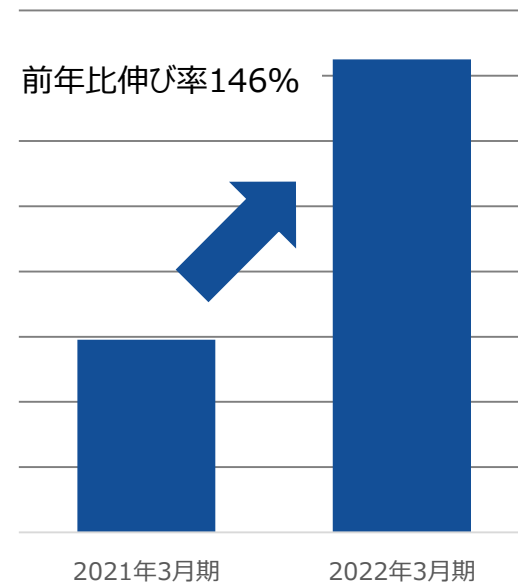
成長事業の探索：PE事業

パッケージ基板印刷向けに真空印刷機“SVM-6151 IP” の全自動ラインの受注が好調

- 電子部品市場の活況に伴い、パッケージ基板印刷向けに真空印刷機の受注が好調で前年比伸び率146%を達成
- 印刷機の前後の工程のマテリアルハンドリングも含む全自動ラインを実現するシステム販売



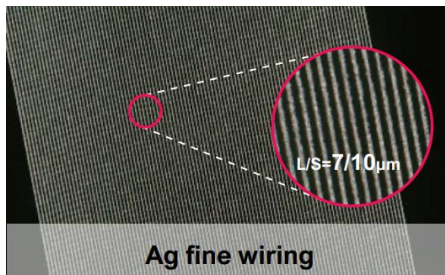
SVM-6151 IP 受注金額



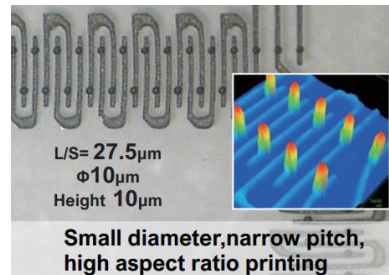
成長事業の探索：PE事業

MicroLED/半導体パッケージ基板向け高精度印刷が可能な
グラビアオフセット印刷機“PEPIO F12SC”による技術提案

- 2022年4月27日から開催されたTouchTaiwanにおいて微細配線、高精度バンプ形成印刷を実現するPEPIOシリーズの新モデルPEPIO F12SCによる技術提案を実施
- Ag/Cu/Au/フラックス/溶剤/レジストなど多様なペーストに対応
- 印刷精度は $\pm 5\mu\text{m}$ 以下で300mmウェハの高密度微細実装（接合）の実現



Ag微細配線



高精度バンプ形成



PEPIO F12SC

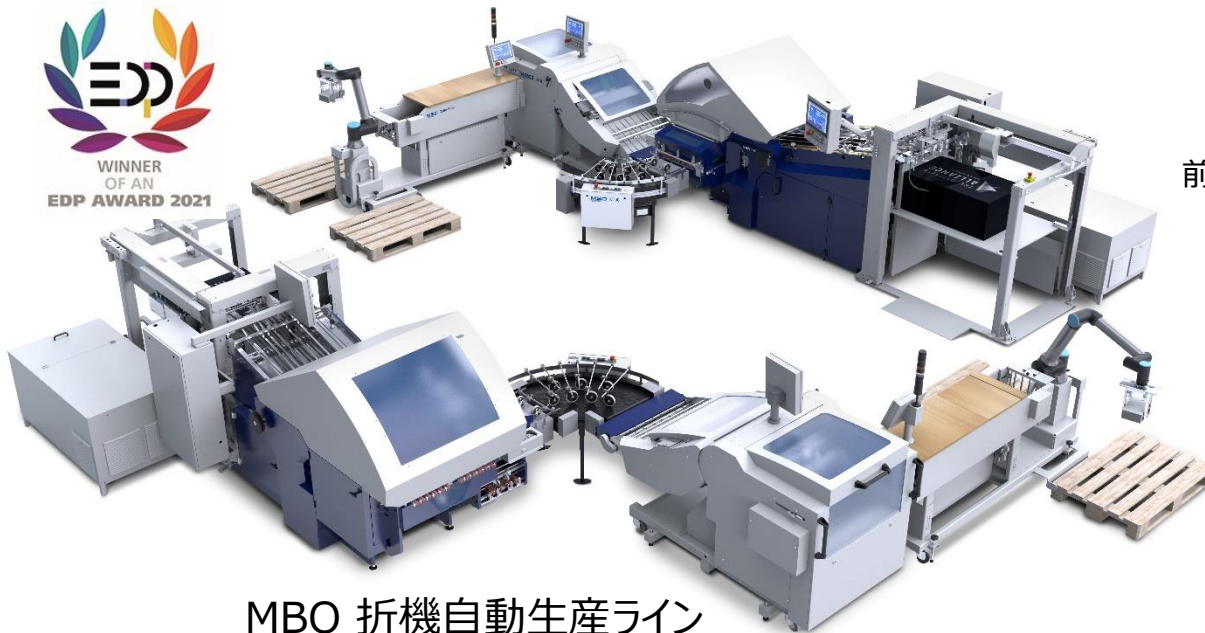
成長事業の探索：MBO事業

Cobo-Stackからファクトリーオートメーションへの取り組み強化

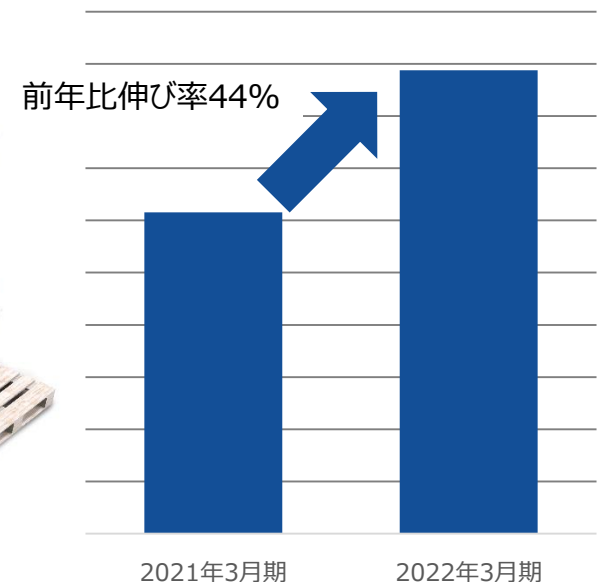
- Cobo-Stackと折り機の自動生産を拡張してKP-Connectによる印刷機連携など自動生産ラインソリューションを強化しグローバル展開

EDPアワード2021「フィニッシング」部門受賞

- Cobo-Stack、検査装置を含むMBOのAutonomous Production Line（折機自動生産ライン）がEDPアワード2021「フィニッシング」部門賞を受賞（EDP=欧州デジタル印刷協会）



Cobo-Stack 売上金額



1. 2022年3月期実績と2023年3月期計画
 - 1)海外グループ会社の受賞
 - 2)コロナウィルス感染症の印刷事業への影響
 - 3)各地域市場動向
 - 4)2022年3月期実績と2023年3月期計画

2. 2023年3月期 経営方針

3. ESG(SDGs)対応（社会・環境への取り組み）
 - 1)当社のESG経営の取組み状況
 - 2)情報開示の取組み
 - 3)Green-PJ（環境対策）の進捗

当社のESG経営の取組み状況

- ・ 全社横断組織の「SDGs-PJ」にて活動推進
- ・ 「日経SDGs経営調査」の総合偏差値60目標に向けた活動
- ・ 統合報告書、TCFD等の情報開示の推進
- ・ 従業員エンゲージメント向上及び社会との共生に向けた活動の推進

KOMORIエコビジョン2030

Green-PJ活動

- ・ エコファクトリー
- ・ エココミュニケーション
- ・ エコプロダクツ

- ・ 新型コロナワクチン職域接種の実施
- ・ ドイツMBO社によるウクライナ避難民受入れ
- ・ くるみん認定
- ・ 健康経営優良法人認定



- ・ 透明性の確保
- ・ 意思決定の迅速化
- ・ チェック機能強化
- ・ コンプライアンスの確保
- ・ リスクマネジメントの強化

情報開示の取組み

統合報告書の発行

2021年10月に従来の「アニュアルレポート」と「環境・社会報告書」を統合した「統合報告書」を発行しました。KOMORIグループの中長期的な価値創造への取組みについて、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様へ、財務・非財務の両面から開示する事を目的としております。今年度も印刷関連業界の事業変化と当社の対応、事業戦略、価値創造ストーリー、およびESGに対する取組みを体系的に紹介していく形で発行してまいります。

KOMORI
CORPORATION
INTEGRATED REPORT
2021



KOMORI

TCFD提言への賛同表明と情報開示

金融安定理事会（FSB）により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言について、賛同を表明しました。財務に影響のある気候関連情報の開示を求めるTCFDの提言に基づき、気候変動が事業に与えるリスク・機会についての分析を実施し、積極的な情報開示を進めてまいります。

◇TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）
G20の要請を受けて金融安定理事会（FSB）が設立した、気候変動関連の情報開示および金融機関の対応を検討するタスクフォースです。企業に対し、気候変動関連リスクおよび機会に関する、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」について開示することを推奨しています。



Green-PJ (環境対策) の進捗

エコファクトリー



グループ企業ドイツMBO社で環境に配慮した設備投資

- ・太陽光発電設備導入
- ・年間予測発電量55,000kwh
- ・年間消費量の18%をカバー

持続可能性の達成

ESG推進、企業価値向上

エコファクトリー
環境に優しい生産・設備

Green-PJ

エコプロダクツ
環境に優しい製品開発

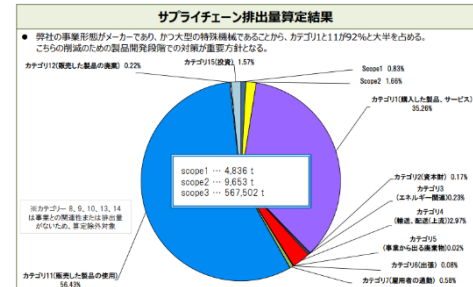
エココミュニケーション
環境に優しい企業活動

- ・次世代モデルの開発支援
- ・環境貢献製品の開発
- ・環境要素技術の開発

- ・気候変動への施策
- ・再エネ発電の導入拡大
- ・省エネ、省資源、資源循環

- ・気候変動への戦略
- ・環境情報の開示
- ・グリーン調達への推進

エココミュニケーション



環境省グリーンバリューチェーンプラットフォームでの情報開示

- ・サプライチェーン排出量Scope1, Scope2, Scope3の開示

エコプロダクツ



リスロンGX/Gアドバンス 世界最高クラスのROIを提供する印刷機

- ・ライフサイクル全体CO2排出量を404トン(16.5%)/台削減(製造段階+使用段階CO2)



- ※ 当資料に含まれている業績予想等は、本資料の現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
- ※ 当資料では表示未満単位を四捨五入して表示しており、内訳と合計が一致しない場合があります。